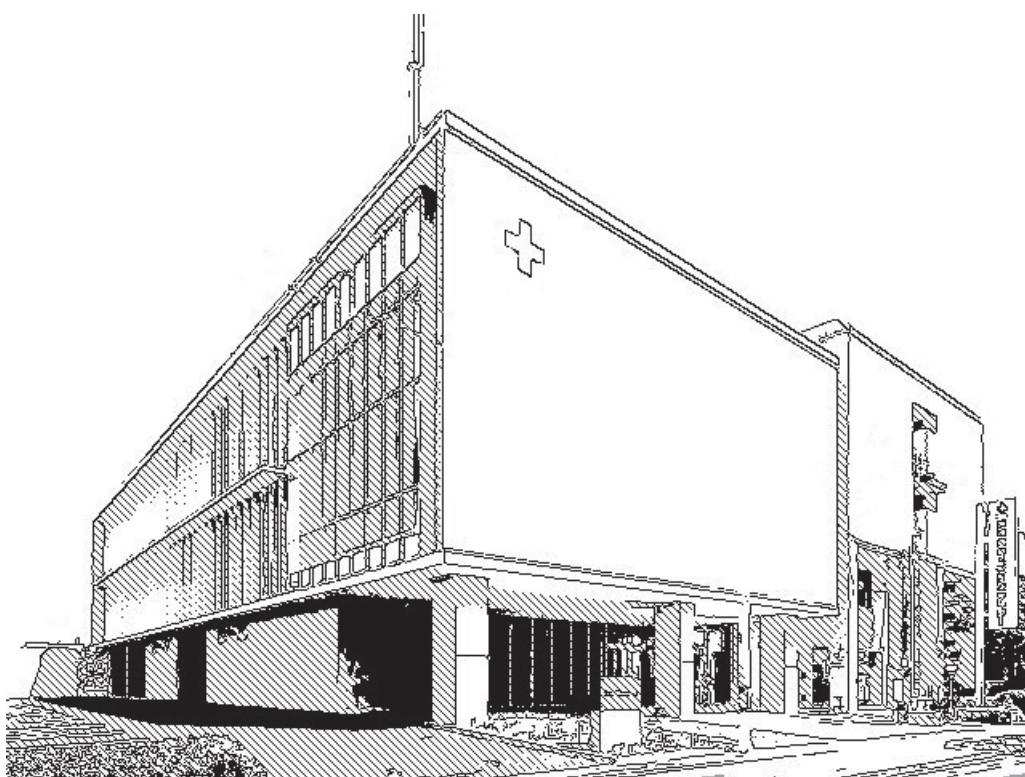


令和7年度 事業報告 一般会計歳入歳出決算報告



日本赤十字社岐阜県支部 社屋全景



人間のいのちと健康・尊厳を守り 150 年
赤十字はこれからもあなたとともに歩みます



日本赤十字社 岐阜県支部
Japanese Red Cross Society

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人 道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公 平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中 立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独 立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉 仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単 一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。

目 次

I	はじめに ～令和7年度をふりかえって～	1
II	令和7年度事業の実施状況	
1	災害救護	2
(1)	災害救護対応	3
(2)	救護員の育成	4
(3)	救護員の登録・編成状況	5
(4)	救護資機材、救援物資の整備状況	5
(5)	防災ボランティアの養成状況	8
(6)	災害義援金の受付状況	8
(7)	防災・減災の取組み	9
(8)	外部機関との連携	10
2	講習普及事業	
(1)	救急法	11
(2)	水上安全法	13
(3)	健康生活支援講習	14
(4)	幼児安全法	16
(5)	指導員の養成・研修等の実施状況	17
3	赤十字奉仕団、ボランティアの活動	
(1)	赤十字奉仕団の活動状況	20
(2)	助成金交付状況	22
(3)	奉仕団別組織状況	22
(4)	会議及び研修会の開催	23
(表)	赤十字奉仕団現況表	25
4	青少年赤十字の活動	
(1)	活動概要	26
(2)	加盟校概要	28
(3)	トレーニング・センター等の実施状況	28
(4)	指導者対象の協議会、研修等の実施状況	29
(別表)	岐阜県青少年赤十字加盟校一覧	30

5 国際活動

- (1) 発展途上国に対する開発計画援助 32
- (2) 職員の派遣 32
- (3) NHK海外たすけあいキャンペーン 32
- (4) 国際人道法等の普及 32
- (5) 海外救援金の受付状況 33
- (6) 安否調査の実施 33

6 県内赤十字施設の運営と連携

- (1) 医療施設の運営 34
- (2) 血液事業の推進 35
- (3) 赤十字施設間会議の開催 36
- (4) 監査及び予備監査の実施 37

7 看護師の養成

- (1) 赤十字看護師の養成 39
- (2) 学生確保のための活動 39

8 赤十字思想の普及・広報

- (1) イベントの開催 40
- (2) 広報資材の作成と配布 40
- (3) メディアを活用した広報展開 41

9 会員と活動資金

- (1) 会員及び社資の状況 42
- (2) 会員の拡充強化 43
- (3) 岐阜県赤十字有功会 44
- (4) 企業等とのパートナーシップ 45
- (5) 表彰 46

10 役員・評議員

- (1) 岐阜県支部の組織 47
- (2) 評議員会等の開催状況 47

11 人材育成

- (1) 職員研修の実施状況 49
- (2) 職員の採用状況 50

Ⅲ	令和 7 年度一般会計歳入歳出決算報告	51
Ⅳ	令和 7 年度岐阜県支部及び施設概況	
1	岐阜県支部の組織	
	(1) 日本赤十字社本社（岐阜県支部関係）役員名簿	60
	(2) 岐阜県支部役員名簿	60
	(3) 岐阜県支部評議員名簿	61
	(4) 岐阜県支部地区・分区長名簿	63
	(5) 岐阜県支部地区・分区一覧表	65
2	施設概況	67
3	日本赤十字社の機構	68
4	日本赤十字社現勢	69

＊ 本事業報告中の取扱数等については、特別な記載がない限り、令和 8 年 3 月 31 日現在の数字となります。

I はじめに

I はじめに ～令和7年度をふりかえって～

赤十字事業の推進につきましては、会員やボランティアの皆様、地区・分区関係者、青少年赤十字加盟校関係者をはじめ、県民の皆様から格別のご理解と温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

日本赤十字社岐阜県支部では、令和7年度においても、社会課題や多様化するニーズに的確に応え、「いのちと健康、尊厳を守る」という赤十字の使命達成に向け、県内赤十字施設が相互に連携し、各事業に取り組みました。

国内では、豪雨や暴風雨による自然災害が頻発したほか、令和7年12月には青森県東方沖を震源とする最大震度6強の地震が発生するなど、各地で多くの災害が発生しました。

こうした状況を踏まえ、岐阜県支部では、災害発生時に迅速かつ的確な救護活動を展開できるよう、県内はもとより東海北陸地域の赤十字施設や県内の行政機関などの関係機関とも連携を図りつつ、訓練や研修を実施しました。

また、地区分区における災害対応能力の向上を目的に、従来配備している救援物資（毛布、緊急セット、安眠セット、タオルケット）に加え、新たな品目を追加配備しました。これは令和7年度からの3か年事業として行うもので、令和6年に発生した能登半島地震の教訓を踏まえ、携帯トイレや女性用衛生用品など、特に避難所生活の質向上に資する物資の整備を順次進めてまいります。

このほか、いのちと健康を守るための知識、技術を習得する各種講習事業や災害時における自助・共助の力を高める防災セミナーの普及、ウクライナや中東での紛争に伴う人道危機などへ人的、資金的支援を行う国際活動等にも取り組みました。

医療事業では、高山赤十字病院において、地域医療構想に基づき、飛騨圏域における高度急性期機能の強化、近隣医療機関との役割分担の推進、医療DXの導入などを通じ、地域医療体制の確保・向上に努めました。また、岐阜赤十字病院においては、令和7年5月に開設した地域包括ケア病棟により、急性期治療後の受け入れから在宅復帰支援までを担う地域の中核病院としての機能強化を図るなど、安全・安心な医療体制の充実に取り組みました。

岐阜県赤十字血液センターでは、県、市町村および関係機関と緊密に連携し、安全な血液製剤の安定供給に努めるとともに、課題となっている若年層献血率の向上を目指し、小中学生向けの献血セミナーや行政機関、地域団体等と協働した献血推進、普及啓発活動を展開しました。

今後も、赤十字に関わる全ての人々と手を携え、地域の皆様の期待と信頼に応えてまいりますので、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Ⅱ 令和 7 年度 事業の実施状況

II 令和7年度事業の実施状況

1 災害救護

岐阜県支部では、災害時の救援物資として、毛布、緊急セット、安眠セット、ブルーシート、災害用移動炊飯器、かんたんテントなどを、支部庁舎内の備蓄倉庫のほか、各市町村及び県内9ヵ所の拠点災害備蓄倉庫に配置している。

災害時の医療救護体制については、災害救助法に基づく救助委託協定及び岐阜DMATの派遣に関する協定を岐阜県と締結し、災害拠点病院に指定されている高山赤十字病院と岐阜赤十字病院に、医療救護班8個班、災害医療コーディネートチーム3個班、DMAT4個班を編成している。

また、平時においては、災害発生時に救護活動が迅速かつ的確に行えるよう訓練や研修を行い、体制を整えている。



第3ブロック支部合同災害救護訓練

福井県内での地震発生を想定し、救護班の実動訓練が開催され、高山赤十字病院救護班が参加し、福井赤十字病院内の赤エリア（重症エリア）での救護を実施し、検証を行った。



第3ブロック赤十字救護班研修会

ブロック内8県の赤十字施設が合同で行う研修に高山と岐阜の赤十字病院から救護班要員が参加。救護員としての心構えから災害時における活動について、2日間の研修を受講した。



県内赤十字施設合同災害救護訓練

岐阜県内での地震発生を想定し、支部災害対策本部の設置から運用までの訓練を実施。令和6年能登半島地震の教訓を基に災対本部と災害医療コーディネートチームの連携訓練を行った。



岐阜県総合防災訓練

岐阜県が主催する県内での複合災害の発生を想定した訓練に参加。関係機関との連絡調整を行った。

(1) 災害救護対応

①令和6年9月能登半島大雨災害にかかる対応

令和6年9月20日頃から発生した令和6年9月能登半島大雨災害において、引き続き避難生活をしている被災者に対し、岐阜県赤十字看護奉仕団によるボランティア活動を実施した。

○ボランティアの派遣状況

派遣元	派遣数	活動日	派遣先	活動内容
岐阜県赤十字看護奉仕団	5名	令和7年6月21日	輪島市	ハンドケア等



被災住民への足湯とハンドケアの実施



レクリエーション（健康体操）の実施

②「高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン 2025」にかかる救護活動

令和7年4月27日に岐阜メモリアルセンターで開催されたマラソン大会において、岐阜赤十字病院救護班1班が救護活動を実施した。

○救護班等の派遣状況

派遣元	派遣数	活動日	活動内容
岐阜赤十字病院	7名	令和7年4月27日	けが人の手当て
岐阜県支部	3名		



ゴール前救護所での活動



転倒等によるけが人の手当て

(2) 救護員の育成

① 訓練実施状況

主催別	名称	実施月日	場所	参加者 (人)
ブロック	第3ブロック支部 合同災害救護訓練	令和7年10月11、12日	福井県支部	11
支部	支部災害対策本部 要員研修	令和7年6月5日	支部大会議室	10
	県内赤十字施設合同 災害救護訓練	令和8年1月31日	支部大会議室	24

② 研修会開催状況

第3ブロック赤十字救護班研修会（救護班要員研修Ⅱ）について、令和7年度は岐阜県支部が当番県として開催した。

主催別	名称	実施月日	場所	参加者 (人)
本社	日赤災害医療コーディネート研修会（第1回）	令和7年8月30、31日	本社	1
	日赤災害医療コーディネート研修会（第2回）	令和7年9月26、27日	本社	1
	日赤災害医療コーディネート研修会（第3回）	令和7年11月1、2日	本社	2
ブロック	第3ブロック赤十字 救護班要員研修会	令和7年9月13、14日	日赤愛知医療センター 名古屋第二病院 災害管理センター棟	受講者 44 スタッフ 66
支部	こころのケア指導者 研修会	令和8年3月2日	オンライン開催	18

③ 会議開催状況

主催別	名称	実施月日	場所	参加者 (人)
ブロック	第3ブロック支部 事業推進課長会議	令和7年5月22、23日	岐阜県支部	10

ブロック	第3ブロック支部 合同災害救護訓練 事前打ち合わせ会	令和7年8月12、13日	福井県支部	2
支部	県内赤十字施設災害 救護対応検討会	令和7年6月3日	オンライン開催	12
	こころのケア指導者 連絡会	(第1回) 令和7年6月23日	オンライン開催	9
		(第2回) 令和8年1月19日	オンライン開催	11

(3) 救護員の登録・編成状況

○常備救護班編成数及び要員数（救護班は1班7人で編成）

区分 施設名	常備救護班 (班)	常備救護班内訳（人）						災害対策本部要員（人）	血液供給要員（人）
		医 師	看 護 師 長	助 産 師	看 護 師	薬 剤 師	主 事	計	
高山赤十字病院	5	5	5	10	5	10	35	2	
岐阜赤十字病院	3	3	3	6	3	6	21	2	
岐阜県赤十字血液センター								4	2
岐阜県支部								11	
計	8	8	8	16	8	16	56	19	2

(4) 救護資機材、救援物資の整備状況

①大規模災害に備えた拠点災害備蓄倉庫

県下5圏域10箇所に設置した拠点災害備蓄倉庫に救援物資を備蓄し、災害時における被災者への迅速な支援体制を整えている。

令和7年度は、経年劣化した西濃総合庁舎敷地内倉庫の更新を実施した。

ア) 拠点災害備蓄倉庫設置場所

圏域	場所	
岐阜圏域	岐阜市	日本赤十字社岐阜県支部
西濃圏域	大垣市	西濃総合庁舎敷地内
	揖斐川町	揖斐総合庁舎敷地内

中濃圏域	美濃加茂市	可茂総合庁舎敷地内
	美濃市	中濃総合庁舎敷地内
	郡上市	郡上総合庁舎敷地内
東濃圏域	多治見市	東濃西部総合庁舎敷地内
	恵那市	恵那総合庁舎敷地内
飛騨圏域	高山市	飛騨総合庁舎敷地内
	下呂市	下呂総合庁舎敷地内

イ) 救援物資整備現況

設置場所		毛布	緊急 セット	ブルー シート	安眠 セット	タオル ケット	簡易 テント	災害用移動 炊飯器
		(枚)	(セット)	(枚)	(セット)	(枚)	(張)	(台)
岐阜	支部	2,840	123	1,340	252	2,020	5	3
西濃	西濃庁舎	400	96	500	144	100	1	1
	揖斐庁舎	400	60	200	144	100	1	1
中濃	可茂庁舎	400	96	500	144	100	1	1
	中濃庁舎	400	60	200	144	100	1	1
	郡上庁舎	400	60	200	144	100	1	1
東濃	東濃西部庁舎	400	60	200	144	100	1	1
	恵那庁舎	400	96	500	144	100	1	1
飛騨	飛騨庁舎	400	96	500	144	100	1	1
	下呂庁舎	500	60	200	144	100	1	1
計		6,540	807	4,340	1,548	2,920	14	12

②災害救援車両等の配備

各地区分区に災害救援車両を配備したほか、災害用移動炊飯器、テント、災害備蓄倉庫を配備し、地域における災害救援体制強化を図った。



地区分区に配備している災害救援車両

○令和7年度配備状況

品名	配備先	
	地区名	分区名
災害救援車両 (2台)	下呂市地区 1台	関ヶ原町分区 1台
	計 1台	計 1台

災害用 移動炊飯器 (8 台)	岐阜市地区	3 台	揖斐川町分区	1 台
	高山市地区	2 台	白川町分区	2 台
		計 5 台		計 3 台
テント (5 張)	岐阜市地区	1 張	揖斐川町分区	1 張
	高山市地区	1 張	北方町分区	1 張
	本巣市地区	1 張		計 2 張
		計 3 張		
災害備蓄倉庫 (1 棟)	下呂市地区	1 棟		
		計 1 棟		

③り災者への支援活動

小規模な災害、火災などにより災者に対し、毛布や緊急セット、お見舞い金の支給など、災害時に準じた対応を行った。

○令和 7 年度支援実績（救援物資及びお見舞金）

対象世帯	対象人数	救援物資送付数			お見舞金
		毛布	緊急セット	安眠セット	
27 世帯	58 人	40 枚	19 セット	0 セット	80,000 円

④救援物資の追加配備（3 カ年事業）

頻発する災害に備えるため、各地区分区に対し令和 7 年～令和 9 年の 3 年間で救援物資の追加配備を行う。

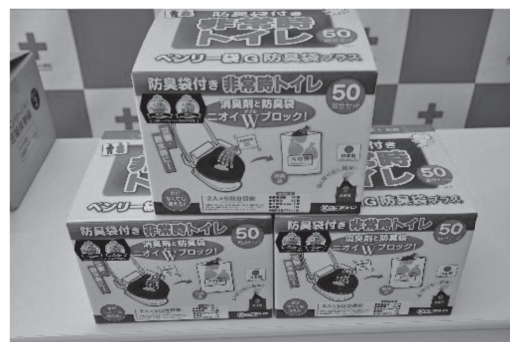
○各地区分区に配備する救援物資

（現行）毛布、緊急セット、安眠セット

（追加）避難所用間仕切りテント、折りたたみベッド、非常用携帯トイレ、ペーパータオル、マスク、女性用衛生用品、軍手・タオル、ポータブル蓄電池



避難所用間仕切りテント等



非常用携帯トイレ

○令和 7 年度配備状況

	間仕切り テント (個)	折りたた みベッド (台)	非常用携 帯トイレ (セット)	ペーパー タオル (ハック)	マスク (箱)	女性用衛 生用品 (ハック)	軍手・ タオル (セット)	ポータブ ル蓄電池 (台)
岐阜市地区	12	12	36	25	5	30	20	1
大垣市地区	12	12	36	25	5	30	20	1
高山市地区	8	8	24	25	5	30	20	1
多治見市地区	12	12	36	25	5	30	20	1
関市地区	8	8	24	25	5	30	20	1
海津市地区	4	4	12	25	5	30	20	1
岐南町分区	4	4	12	25	5	30	20	1

(5) 防災ボランティアの養成状況

①赤十字防災ボランティアの養成

赤十字精神を理解し岐阜県支部の災害救護活動をサポートする防災ボランティアを新たに 13 名養成し、現在 89 名の赤十字防災ボランティアを登録している。

○赤十字防災ボランティア登録人数

(単位：人)

令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
63	65	74	81	89

②防災ボランティアのためのこころのケア研修の実施

ボランティアの方々が、被災地での活動を安全に実施できるように、きめ細かなこころのケアの提供と自己管理を含めた対処法を学ぶ「防災ボランティアのためのこころのケア研修」を実施した。

実施月日	場所	受講者 (人)
令和 7 年 9 月 25 日	日本赤十字社岐阜県支部	8
令和 7 年 10 月 15 日	高山赤十字病院	5

(6) 災害義援金の受付状況

国内の被災者を支援する義援金の募集を下表のとおり行い、多くの方々からのご支援をいただいた。これらの義援金は、日本赤十字社本社を通して、各被災県の義援金配分委員会に全額送金した。

義援金名	件数	金額（円）
令和 6 年能登半島地震災害義援金	512	18,584,037
令和 6 年 9 月能登半島大雨災害義援金	249	3,297,939
令和 7 年大船渡市赤崎町林野火災義援金	111	1,372,231
令和 7 年トカラ列島近海地震	76	331,720
令和 7 年台風第 8 号に伴う災害義援金	60	292,240
令和 7 年 8 月 6 日からの大雨災害義援金	95	656,091
令和 7 年台風第 12 号災害義援金	61	159,167
令和 7 年台風第 15 号災害静岡県義援金	66	461,181
令和 7 年台風第 22 号・第 23 号災害義援金	12	69,347
令和 7 年 11 月 18 日佐賀関火災義援金	63	1,348,183
令和 7 年青森県東方沖地震義援金	12	25,649
合 計	1,317	26,597,785

（７）防災・減災の取組み

①防災教育事業の実施

過去の災害から得た教訓を踏まえ、地域住民が自ら災害から命を守り、り災に伴う心身の苦痛を軽減することを目的に、災害への備えについての説明や災害図上訓練（DIG）などの防災教育事業を次のとおり実施した。



岐阜信用金庫 G'sDream と共催で行った講習

対象	実施回数	受講者数
赤十字関係者	28	1,015
学校・JRC関係者	23	1,865
町内会・自治会等	6	190
地区分区	1	15
行政／社協	1	20
企業／団体	6	215
その他	0	0
合計	65	3,320

カリキュラム	実施回数
日本赤十字社の紹介	24
災害への備え	50
災害エスノグラフィー	1
災害図上訓練(DIG)	2
家具安全対策ゲーム(KAG)	2
おうちのキケン	3
ひなんじょたいけん	10
支部独自プログラム	24

※1日に複数のカリキュラムを実施した場合は、各カリキュラムに1回計上

※支部独自プログラム：段ボールベッド体験、簡易トイレ体験、炊き出し、など

②防災教育事業指導者の養成

現在、職員・ボランティアを含め 31 名の指導者が在籍しており、この指導者が中心となり防災セミナーを展開している。(令和 7 年度の新指導者養成なし)

③防災教育事業指導者へのフォローアップ

既存プログラムの改定および「家具安全対策ゲーム」「ひなんじょたいけん」の伝達を行ったほか、令和 8 年度から新規追加となる「大雨・台風の避難スイッチ」の伝達を指導者に行った。

(8) 外部機関との連携

岐阜県等外部機関との連携強化に向けた取り組みとして、各種訓練に参加したほか、関係機関の防災担当部署への訪問を実施した。

外部機関名	名称	実施月日	場所	参加者(人)
岐阜県 防災課	令和 7 年度木曽三川連合 総合水防演習	令和 7 年 5 月 25 日	県庁	2
	令和 7 年度岐阜県 総合防災訓練	令和 7 年 8 月 31 日	県庁	2
	住民主体避難所運営訓練	令和 8 年 2 月 1 日	下呂市竹原小学校	9
岐阜県 医療整備課	岐阜県緊急対策 チーム図上訓練	令和 8 年 1 月 21 日	県庁	2
岐阜県 DPAT 事務局	訪問、赤十字救護活動、 こころのケア活動を説明	令和 7 年 8 月 5 日	岐阜県精神健康 センター	3

2 講習普及事業

人命を救う方法や健康で安全に暮らすための知識や技術を伝えるため、地域住民の皆さんや学校などにおいて各種講習会を実施しており、令和7年度も以下の講習を開催した。

(1) 救急法

日常生活における事故の防止の他、意識障害・呼吸停止・心停止など、ただちに手当しないと生命の危険がある傷病者に行う一次救命処置（胸骨圧迫と人工呼吸、AEDの使用方法等）や止血法、包帯（三角巾）の使い方、骨折の手当、搬送、災害時の心得などに関する知識と技術を広く普及するため、各種講習会を開催した。



基礎講習で胸骨圧迫を行っている様子

① 支部主催講習

ア) 基礎講習

実施月日	実施場所	受講者 (人)	認定証 交付者 (人)
令和7年 4月 20日	日本赤十字社岐阜県支部	12	11
令和7年 5月 3日	日本赤十字社岐阜県支部	18	18
令和7年 6月 1日	日本赤十字社岐阜県支部	4	4
令和7年 7月 20日	日本赤十字社岐阜県支部	21	19
令和7年 8月 6日	高山赤十字病院	19	19
令和7年 9月 17日、18日【夜間】	日本赤十字社岐阜県支部	19	19
令和7年 10月 26日	日本赤十字社岐阜県支部	20	20
令和7年 12月 7日	日本赤十字社岐阜県支部	13	13
令和8年 1月 18日	日本赤十字社岐阜県支部	16	16
令和8年 2月 8日	日本赤十字社岐阜県支部	16	16
令和8年 3月 8日	日本赤十字社岐阜県支部	8	8
計	11回	166	163

イ) 救急員養成講習

実施月日	実施場所	受講者 (人)	認定証 交付者 (人)
令和 7 年 5 月 4、5 日	日本赤十字社岐阜県支部	14	14
令和 7 年 7 月 27 日、8 月 3 日	日本赤十字社岐阜県支部	18	14
令和 7 年 8 月 20、21 日	高山赤十字病院	13	13
令和 7 年 12 月 14、21 日	日本赤十字社岐阜県支部	17	16
令和 8 年 2 月 15、22 日	日本赤十字社岐阜県支部	14	14
計	5 回	76	71

② 支部主催以外の講習

ア) 基礎講習

実施主体	赤十字 関係 団体	町内会 自治会	学校	企業	公的団体	その他	計
回数	3	0	2	0	1	4	10
受講者 (人)	51	0	17	0	7	64	139
認定証交付者 (人)	51	0	17	0	7	64	139

イ) 救急員養成講習

実施主体	赤十字 関係 団体	町内会 自治会	学校	企業	公的団体	その他	計
回数	1	0	0	0	0	1	2
受講者 (人)	7	0	0	0	0	11	18
認定証交付者 (人)	7	0	0	0	0	11	18

ウ) 短期講習

実施主体	赤十字 関係 団体	町内会 自治会	学校	企業	公的団体	その他	計
回数	23	1	76	15	56	22	193
受講者 (人)	607	10	3,256	307	3,119	852	8,151

(2) 水上安全法

水の事故から人命を守るため、泳ぎの基本や自己保全・事故防止、溺者の救助方法、応急手当の方法などを学ぶ講習会を開催した。



救助員Ⅰ養成講習で溺者の確保の実技を行っている様子

①支部主催講習

ア) 救助員Ⅰ養成講習

実施月日	実施場所	受講者 (人)	認定証 交付者 (人)
令和7年 6月15日 22日 29日	各務原市民プール	6	6
計	1回	6	6

②支部主催以外の講習

ア) 救助員Ⅰ養成講習

実施主体	赤十字 関係 団体	町内会 自治会	学校	企業	公的団体	その他	計
回数	0	0	0	0	0	0	0
受講者(人)	0	0	0	0	0	0	0

イ) 短期講習

実施主体	赤十字 関係 団体	町内会 自治会	学校	企業	公的団体	その他	計
回数	0	0	17	1	2	0	20
受講者(人)	0	0	1,081	30	132	0	1,243

(3) 健康生活支援講習

高齢期を健やかに過ごすため、高齢者の健康と安全、介護予防、自立した生活を続けるための工夫や、地域における支援活動の知識と技術を学ぶ講習会を開催した。

また、短期講習として、「災害時高齢者生活支援講習」、「こころとこころの架け橋講習」などの講習を実施した。



支援員養成講習で移動実技を行っている様子

①支部主催講習会

ア) 支援員養成講習

実施月日	実施場所	受講者 (人)	認定証 交付者(人)
令和7年7月7、8日	岐阜赤十字病院	5	5
令和7年7月17、18日	高山赤十字介護老人保健施設 はなさと	4	4
令和7年10月5、12日	日本赤十字社岐阜県支部	19	18
令和8年2月16、17日	岐阜赤十字病院	8	8
計	4回	36	35

イ) 短期講習

○災害時高齢者生活支援講習

実施月日	実施場所	受講者(人)
令和7年6月11日	日本赤十字社岐阜県支部	7
令和7年8月7日	高山赤十字介護老人保健施設はなさと	6
令和8年1月21日	日本赤十字社岐阜県支部	12
計	3回	25

○癒しのハンドケア講習及びリラクゼーション講習

実施月日	実施場所	受講者(人)
令和7年4月23日	日本赤十字社岐阜県支部	8
令和7年8月4日	岐阜赤十字病院	4
令和7年9月10日	高山赤十字介護老人保健施設はなさと	4
令和7年11月16日	日本赤十字社岐阜県支部	4
計	4回	20

○こころとこころの架け橋講習

実施月日	実施場所	受講者（人）
令和 7 年 6 月 12 日	日本赤十字社岐阜県支部	7
令和 7 年 10 月 9 日	高山赤十字介護老人保健施設はなさと	3
令和 8 年 1 月 22 日	日本赤十字社岐阜県支部	9
計	3 回	19

○地域で支える認知症

実施月日	実施場所	受講者（人）
令和 7 年 10 月 7 日	岐阜赤十字病院	3
令和 7 年 11 月 12 日	高山赤十字介護老人保健施設はなさと	4
計	2 回	7

②支部主催以外の講習

ア) 短期講習

実施 主体	赤十字 関係 施設	赤十字 関係 団体	町内会 自治会	学校	企業	公的 団体	その他	計
回数	10	29	0	0	0	6	1	46
受講者 (人)	183	834	0	0	0	264	34	1,315

③地域包括ケア事業への取組み

健康生活支援講習を通じて、生活支援や介護予防の担い手を育成し、地域の自助と互助の力を高めることにより、可能な限り住み慣れた地域で元気に暮らすための仕組みづくり（地域包括ケアシステム）に取り組んでいる。

令和 7 年度は、支援の一環として、助成金交付事業を開始した。奉仕団 4 分団から申請があり、下記のとおり、地域のニーズに合った支援活動を計画的に実施した。

奉仕団名（分団名）	活動内容
岐阜市（早田）	サロン活動、見守り活動
大垣市（日新）	訪問活動
大野町	サロンでの防災啓発活動
垂井町	サロン活動及びサロンでの防災啓発活動



大野町赤十字奉仕団
サロン参加者に新聞紙スリッパを紹介



岐阜市赤十字奉仕団早田分団
サロンを開催、地域住民との交流の様子



大垣市赤十字奉仕団日新分団
地域のつながりを高めるため、
地域の高齢独居宅を訪問



垂井町赤十字奉仕団
サロンを開催、防災グッズや防災食を紹介

(4) 幼児安全法

子どもが健康で安全に育つことを願って、子どもに起こりやすい事故の予防と救命手当・応急手当の方法、子どもの病気と看病のしかたについて学ぶ講習会を開催した。

また、子育て中の保護者や家族、保育従事者及び子育て支援者等への講習を普及拡大するため、「すくすく子育てサポート講習」(短期講習)を実施した。

① 支部主催講習

ア) 支援員養成講習

実施月日	実施場所	受講者(人)	認定証交付者 (人)
令和7年 6月 3、10日	岐阜赤十字病院	6	6
令和7年 6月 19、26日	高山赤十字病院	7	7
令和7年 9月 7、14日	日本赤十字社岐阜県支部	7	7
計	3回	20	20

イ) 短期講習（すくすく子育てサポート講習）

実施月日	実施場所	受講者（人）
令和7年6月5日	高山赤十字病院	2
令和7年6月28日	岐阜赤十字病院	10
令和7年7月9日	高山赤十字病院	7
令和7年10月25日	日本赤十字社岐阜県支部	4
令和7年11月8日	日本赤十字社岐阜県支部	5
計	5回	28

ウ) 子育て支援ボランティア養成講座

実施月日	実施場所	受講者（人）
令和7年6月27日	高山赤十字病院	4
計	1回	4

②支部主催以外の講習

ア) 支援員養成講習

実施主体	赤十字 関係 施設	赤十字 関係 団体	町内会 自治会	学校	企業	公的団体	その他	計
回数	0	0	0	1	0	0	0	1
受講者(人)	0	0	0	18	0	0	0	18

イ) 短期講習（すくすく子育てサポート講習）

実施主体	赤十字 関係 施設	赤十字 関係 団体	町内会 自治会	学校	幼稚園 保育園	企業	公的団体	その他	計
回数	1	3	0	0	8	1	29	4	46
受講者(人)	4	87	0	0	156	5	505	55	812

(5) 指導員の養成・研修等の実施状況

①指導員登録状況

各種講習の内容を広く一般に普及するための知識と技術を有した指導員（ボランティア）を登録し、県内の講習普及の担い手として活動していただいている。

(単位：人)

講習種別	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
救急法指導員	93	97	97	106	91
水上安全法指導員	11	10	10	9	8
健康生活支援講習指導員	67	65	70	70	70
幼児安全法指導員	31	36	36	35	41

② 指導員研修の実施

各講習の更新事項の伝達などを内容とした研修を指導員に対し毎年実施しており、令和7年度は次のとおり開催した。

ア) 救急法等指導員研修

開催日／場	①令和8年3月15日／日本赤十字社岐阜県支部 ②令和8年3月19日／高山赤十字病院
参加者数	①27人 ②18人 ※欠席者には資料を伝達
内容	講習事業の方針伝達及び技術指導

イ) 幼児安全法指導員研修

開催日／場	①令和8年3月15日／日本赤十字社岐阜県支部 ②令和8年3月16日／岐阜赤十字病院 ③令和8年3月19日／高山赤十字病院
参加者数	①13人 ②10人 ③9人
内容	講習事業の方針伝達及び技術指導

ウ) 健康生活支援講習指導員研修

開催日／場	①令和8年3月9日／岐阜赤十字病院 ②令和8年3月12日／高山赤十字病院 ③令和8年3月23日／岐阜赤十字病院 ④令和8年3月25日／岐阜赤十字病院 ⑤令和8年3月29日／日本赤十字社岐阜県支部
参加者数	①11人 ②11人 ③8人 ④11人 ⑤7人
内容	講習事業の方針伝達及び支援員養成の内容理解と指導展開方法の共有

③ 指導員養成講習の開催

赤十字の理念と使命を理解し、講習普及に尽力できる十分な知識と技術を持った実働的な指導員を養成するため、幼児安全法の指導員養成講習を開催した。

○幼児安全法指導員養成講習

開催日程	説明会事前研修会	令和 7 年 10 月 3 日
	養成講習会	令和 7 年 10 月 4 日、11 月 9、10、22、23 日
	新任指導員研修会	令和 8 年 1 月 23、24 日
会 場	日本赤十字社岐阜県支部	
参加者数	6 人	
修了者数	6 人	

3 赤十字奉仕団、ボランティアの活動

赤十字奉仕団は、人道・博愛の精神に基づく赤十字理念の実践者としてボランティア活動を行い、赤十字事業の根幹を支えている。

県内では、市町村ごとに組織する「地域赤十字奉仕団」42 団、社会人や学生などで組織される「青年赤十字奉仕団」2 団、アマチュア無線技術や赤十字救急法指導員資格を有する方、健康生活指導員資格を持つ看護師経験者、青少年赤十字加盟校での指導実績を持つ教員経験者などで組織され、それらの技術や資格を活かした奉仕活動を行う「特殊赤十字奉仕団」7 団が活動している。

(1) 赤十字奉仕団の活動状況

①地域赤十字奉仕団

地域奉仕団は地域の実情に即した活動を実施している。令和 7 年度は、奉仕団県下統一事業として実施している在宅高齢者訪問事業や、炊き出し訓練などの従来の活動に加え、4 月から 10 月にかけて大阪・夢洲にて開催された 2025 年大阪・関西万博への視察研修を実施し、国際赤十字・赤新月運動館（赤十字パビリオン）の見学等を行った。

○奉仕団県下統一事業

事業名	訪問人数（人）	実施日
独居高齢者訪問事業	11,003	令和 7 年 7 月 7 日前後 令和 7 年 11 月 3 日前後

○2025 年大阪・関西万博視察研修

日付	実施団	人数（人）
令和 7 年 5 月 12 日	奉仕団県内募集	39
令和 7 年 6 月 3 日	大垣市赤十字奉仕団	36
令和 7 年 9 月 8 日	養老町赤十字奉仕団	30
令和 7 年 9 月 16 日	垂井町赤十字奉仕団	26
令和 7 年 9 月 26 日	神戸町赤十字奉仕団	25
令和 7 年 10 月 2 日	可児市赤十字奉仕団	26



大阪・関西万博視察研修
（赤十字パビリオン前）



炊き出し訓練
（揖斐川町赤十字奉仕団ほか）

②青年赤十字奉仕団

社会人で構成される青年赤十字奉仕団は、献血推進や募金活動の他、赤十字事業に関連した諸活動を行っている。

令和7年度は、毎月の定例会の実施に加えて、救急法講習会の受講や炊き出し訓練を実施した。

また、富山県にて開催された令和7年度第3ブロック青年赤十字奉仕団代表者及び支部担当者会議に2名が参加し、他県の奉仕団との交流を行った。



第3ブロック青年赤十字奉仕団委員長会議

③特殊赤十字奉仕団

ア) 無線奉仕団

アマチュア無線赤十字奉仕団が岐阜、高山、中津川、下呂を拠点として活動しており、特に災害時の緊急通信の補助として、音声交信のみならず、映像配信などの技術力を駆使したリアルな情報を災害対策本部等に配信できるよう訓練活動をしている。令和7年度は、全国非常無線通信訓練に複数回参加し、非常時の通信確保に努めた。

イ) 安全奉仕団

赤十字の講習指導員により結成された奉仕団で、より良い講習普及活動をめざし、情報交換や指導技術の研鑽などを行い、支部事業の支援活動を実施している。

令和7年度は、スキルアップセミナーを開催し団員の知識と技術の向上を図ったほか、講習資機材のメンテナンスを実施した。

ウ) 看護奉仕団

赤十字病院看護師又は退職看護師である健康生活支援講習指導員を中心に結成されている。看護の知識と技術及び講習指導員の経験を活かし、地域での高齢者支援活動や支部事業の支援を計画した。

令和7年度は、大阪・関西万博視察研修での救護活動（地域奉仕団の随行）、ねんりんピックでの健康相談や、能登半島地震等被災地支援活動として、6月に輪島市の仮設住宅集会所において足浴やハンドケア、健康体操などの健康増進活動を実施した。また、岐阜市内の介護施設にてハンドケアのボランティア活動を16回実施した。

エ) 青少年赤十字賛助奉仕団

小・中・高等学校などで、青少年赤十字の指導にあたられた教員経験者で構成され、青少年赤十字の発展・普及を支援している。

令和7年度は、青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センターにおいてメンバーの指導にあたったほか、青少年赤十字作品コンクールの「書」「絵画」作品を審査した。

(2) 助成金交付状況

種類	団数 (団)	金額 (円)
地域奉仕団運営助成金	40	1,220,000
特殊奉仕団運営助成金	6	193,103
県下統一事業助成金	28	3,725,993
炊き出し活動助成金	22	257,124
病院ボランティア活動助成金	2	33,757
新設及び創立記念事業助成金	7	531,312
活動推進助成金	10	532,615
活性化事業助成金	5	250,000
地域包括ケア事業助成金	4	338,424
NHK 海外たすけあいに係る活動助成金	1	19,000
JRC 賛助奉仕団活動助成金	1	50,185
計		7,151,513

(3) 奉仕団別組織状況

(令和 7 年 6 月 1 日時点)

種別	団数	分団数	班数	団員数 (人)		
				男	女	合計
地域	42	185	170	297	6,705	7,002
青年	2	0	0	4	6	10
特殊	6	4	3	109	29	138
賛助	1	0	0	20	2	22
合計	51	189	173	430	6,742	7,172

(内訳 P.25 別表 赤十字奉仕団現況表のとおり)

(4) 会議及び研修会の開催

①会議の開催

ア) 本社主催

開催日	事業名	開催場所	参加者 (人)
令和7年7月3、4日	赤十字奉仕団中央委員会	本社	1
令和7年7月8、9日	全国 JRC 賛助奉仕団 協議会総会	本社	1

イ) ブロック主催

開催日	会議名	開催場所	参加者 (人)
令和7年6月17、18日	第3ブロック JRC 賛助奉仕団 連絡協議会	三重県支部	2
令和7年6月21、22日	第3ブロック青年赤十字奉仕団 代表者及び支部担当者会議	富山県支部	3
令和7年9月4、5日	第3ブロック赤十字奉仕団 委員長並びに担当者会議	福井県支部	2

ウ) 支部主催

令和7年度は、令和6年度まで開催していた「圏域別奉仕団委員長および担当者会議」の名称を「圏域別赤十字ボランティア交流会」へ変更し、参加対象者を拡大し参加者の増加を図った。

開催日	会議名	開催場所	参加者 (人)
令和7年5月9日	地域赤十字奉仕団委員長会議	岐阜県支部	38
令和7年5月26日	JRC 賛助奉仕団役員会・総会	岐阜県支部	10
令和7年10月29日	圏域別 赤十字ボランティア交流会	可茂総合庁舎	25
令和7年10月31日		岐阜県支部	14
令和7年11月21日		揖斐総合庁舎	16
令和7年11月25日		高山赤十字病院	5
令和7年11月28日		大垣市総合 福祉会館	18
令和7年12月2日		岐阜県支部	17
令和7年12月4日		瑞浪市総合 文化センター	7
		計7回	102
令和8年2月24日	JRC 賛助奉仕団第2回役員会	岐阜県支部	6

②研修会の開催

○支部主催

開催日	研修会名	開催場所	参加者（人）
令和 7 年 10 月 29 日	赤十字奉仕団基礎研修会	可茂総合庁舎	29
令和 7 年 10 月 31 日		岐阜県支部	14
令和 7 年 11 月 21 日		揖斐総合庁舎	24
令和 7 年 11 月 25 日		高山赤十字病院	22
令和 7 年 11 月 28 日		大垣市総合 福祉会館	31
令和 7 年 12 月 2 日		岐阜県支部	24
令和 7 年 12 月 4 日		瑞浪市総合 文化センター	12
		計 7 回	156
令和 8 年 2 月 26 日	赤十字ボランティア リーダーシップ研修会	岐阜県支部	19

(別表) 赤十字奉仕団現況表

奉仕団名	分団数	班数	団員数 (人)		
			男	女	計
1 岐阜市	48	0	46	1,189	1,235
2 大垣市	20	0	5	1,082	1,087
3 高山市	4	0	6	150	156
4 多治見市	3	18	0	81	81
5 関市	10	0	0	264	264
6 中津川市	5	0	35	221	256
7 美濃市	0	13	0	203	203
8 瑞浪市	7	0	0	123	123
9 羽島市	0	0	0	29	29
10 恵那市	3	14	0	95	95
11 美濃加茂市	0	0	0	83	83
12 土岐市	9	0	0	160	160
13 各務原市	0	0	123	94	217
14 可児市	12	0	5	178	183
15 山県市	3	4	14	80	94
16 瑞穂市	7	0	0	93	93
17 本巣市	2	5	0	67	67
18 飛騨市	0	5	6	22	28
19 郡上市	7	0	8	192	200
20 下呂市金山	4	23	0	93	93
21 海津市	5	0	5	58	63
22 岐南町	0	0	1	17	18
23 笠松町	3	0	0	119	119
24 養老町	0	0	0	82	82
25 垂井町	7	0	0	89	89
26 関ヶ原町	0	0	0	11	11
27 神戸町	4	13	0	78	78
28 輪之内町	0	0	12	15	27
29 安八町	0	0	1	17	18
30 揖斐川町	6	42	2	431	433
31 大野町	0	0	0	99	99
32 池田町	6	0	4	280	284
33 北方町	0	0	0	25	25
34 坂祝町	0	15	0	109	109
35 富加町	0	3	0	20	20
36 川辺町	0	4	0	62	62
37 七宗町	0	11	3	65	68
38 八百津町	6	0	15	117	132
39 白川町	0	0	0	210	210
40 東白川村	0	0	6	242	248
41 御嵩町	4	0	0	52	52
42 白川村	0	0	0	8	8
合 計	185	170	297	6,705	7,002

奉仕団名	分団数	班数	団員数 (人)		
			男	女	計
1 岐阜青年	0	0	4	6	10
2 中部学院	0	0	0	0	0
合 計	0	0	4	6	10

奉仕団名	分団数	班数	団員数 (人)		
			男	女	計
1 岐阜無線	0	0	11	1	12
2 高山無線	0	3	16	0	16
3 中津川無線	0	0	38	1	39
4 下呂無線	4	0	35	1	36
5 安全奉仕団	0	0	9	12	21
6 看護奉仕団	0	0	0	14	14
7 青少年赤十字 賛助奉仕団	0	0	20	2	22
合 計	4	3	129	31	160

	男	女	計
総合計	430人	6,742人	7,172人

(令和7年6月1日時点)

4 青少年赤十字の活動

生命と健康を大切にする【健康・安全】、人間として社会のため、人のために尽くす責任を自覚し、実行する【奉仕】、広く世界の青少年を知り、仲良く助けあう精神を養う【国際理解・親善】の3つの実践目標を掲げ、「気づき、考え、実行する」という自主・自立の態度目標に基づき、園児・児童生徒の発達段階や学校内外の実情に応じた様々な活動に取り組んでいる。

(1) 活動概要

① JRC未来応援プロジェクト活動助成事業

青少年赤十字の実践目標のほか、防災、SDGs に関する様々な体験活動をととして「気づき、考え、実行する」姿勢を育む活動を応援し、その活動の輪を広げるために35校（園）に活動助成金400万円を交付した。

【未来応援プロジェクト指定校】

岐阜市立長良西小学校	各務原市立蘇原第二小学校	恵那市立岩邑中学校
岐阜市立藍川北学園	松翠学園岐阜女子高等学校	上楽学園ながもり第二幼稚園
那加学園子苑第一幼稚園	那加学園子苑第二幼稚園	中部学院大学・中部学院大学短期大学部附属桐が丘幼稚園
飛騨学園美鳩幼稚園	岐阜市立茜部小学校	岐阜市立則武小学校
岐阜市立三里小学校	岐阜市立長良東小学校	羽島市立正木小学校
各務原市立那加第三小学校	各務原市立中央小学校	山県市立桜尾小学校
山県市立伊自良北小学校	山県市立いわ桜小学校	大垣市立川並小学校
垂井町立合原小学校	輪之内町立福束小学校	郡上市立和良小学校
美濃加茂市立三和小学校	七宗町立神淵小学校	中津川市立付知北小学校
飛騨市立古川小学校	大垣市立江並中学校	郡上市立大和中学校
郡上市立高鷲中学校	北方町立北学園	大垣市立上石津学園
岐阜県立池田高等学校	岐阜県立飛騨高山高等学校 岡本キャンパス	

② 青少年赤十字作品コンクールの開催

赤十字活動に対する関心を高めることを目的に、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」などに関する「書」「絵画」の作品を県内青少年赤十字加盟校（園）のメンバーから募集し、入賞作品（優秀賞除く）を、県内9カ所において展示し、広く県民に披露した。

【応募数ならびに参加校（園）数】

	書の部	絵画の部
応募数	2,640 点	511 点
参加校（園）	194 校	78 校（園）

【展示会場】

ラスパ御嵩	JR 岐阜駅アクティブ G 内献血ルーム前
イオンモール各務原インター	カラフルタウン岐阜
岐阜赤十字病院	イオンモール大垣
瑞浪市保健センター	高山赤十字病院
日本赤十字社岐阜県支部	

③ 国際交流事業

岐阜県支部においては、平成 19 年度から愛知県支部とともに、モンゴル赤十字社との国際交流を進めており、外国の子どもたちと会話をし、文化の違いを感じる体験を通じ、自分自身や自国を見つめ直す機会としている。令和 7 年度は、モンゴル青少年赤十字メンバーを日本に迎え交流会を開催した。

【開催概要】

開 催 日	令和 7 年 7 月 5 日、6 日
会 場	愛知県美浜少年自然の家 など
参 加 者	モンゴル国、岐阜県、愛知県 JRC メンバー計 18 人 岐阜県からは岐阜市立三輪中学校、郡上市立八幡中学校のメンバー 2 名が参加
内 容	各国の文化や学校生活の発表 ウェルカムパーティーや宿泊研修、有松絞り体験

④ ワンタッチテントの贈呈

青少年赤十字加盟校への支援の一つとして防災対策の強化や各種行事に活用してもらうため、ワンタッチテント(3m×6m)1 張を令和 6 年新規加盟校等 12 校(園)と過去に配備したテントが使用不能となった 33 校(園)に贈呈した。

【贈呈実績】

平成 26 年度	273 校(園)
平成 28 年度	163 校(園)
平成 30 年度	40 校(園)
令和元年度	88 校(園)
令和 2 年度	50 校(園)
令和 3 年度	29 校(園)
令和 4 年度	29 校(園)
令和 5 年度	17 校(園)
令和 6 年度	10 校(園)
令和 7 年度	45 校(園)



ワンタッチテント贈呈式を開催
(いづみ第二幼稚園)

⑤広報資材の作成

資 材 名	数 量
青少年赤十字岐阜	1,000 部

(2) 加盟校概要

① 加盟状況

	令和 6 年度		令和 7 年度		
	加盟校(園)数	メンバー数(人)	加盟校(園)数	メンバー数(人)	
幼稚・保育園	67	6,168	69	5,975	
小 学 校	340	93,410	337	89,974	全校加盟
中 学 校	180	51,334	177	50,350	全校加盟
義務教育学校 (令和元年度から前期・ 後期を合算し計上)	7	3,042	9	3,264	全校加盟
高等学校ほか	50	25,010	54	25,078	
特別支援学校	23	2,697	23	2,810	全校加盟
合 計	667	181,661	669	177,451	

(P.30、31 別表岐阜県青少年赤十字加盟校一覧参照)

② 令和 7 年度新規加盟校 (園)

幼稚園等	瑞穂市立ほづみ幼稚園	神谷学園東海第一幼稚園
中学校	七宗町立七宗中学校	
義務教育学校	岐阜市立藍川北学園	高山市立荘川さくら学園
高等学校ほか	岐阜県立各務原西高等学校 松翠学園岐阜第一高等学校	岐阜県立武義高等学校 おおぞら高等学院岐阜キャンパス
特別支援学校	各務原市立かかみがはら支援学校	

(3) トレーニング・センター等の実施状況

①本社主催

開催日	研 修 会 名	会 場	参加者 (人)
令和 8 年 3 月 22～26 日	スタディー・センター	東照館 (山梨県)	2

②支部主催

開催日	研 修 会 名	会 場	参加者 (人)
令和 7 年 7 月 23 日	リーダーシップ・トレーニング・センター (小中学生対象)	岐阜県支部	27
8 月 20 日	リーダーシップ・トレーニング・センター (高校生対象)	岐阜市生涯学習センター	41

(4) 指導者対象の協議会、研修等の実施状況

①本社主催

開催日	会 議 名	会 場	出席者 (人)
令和 7 年 4 月 18 日	支部担当者説明会	Web 会議	2
6 月 17 日	支部担当者研修会	本社（東京都）	1
7 月 4 日	全国指導者協議会総会・研修会	本社（東京都）	1
8 月 6 日	指導主事対象青少年赤十字研究会	本社（東京都）	1

②ブロック主催

開催日	会 議 名	会 場	出席者 (人)
令和 7 年 6 月 20 日	指導者協議会長及び支部 担当者研究会	Web 会議	3

③支部主催

開催日	会 議 名	会 場	出席者 (人)
令和 7 年 5 月 27 日	指導者協議会第 1 回役員会	岐阜県支部	6
5 月 27 日	指導者協議会総会	岐阜県支部	45
8 月 5 日	指導者養成講習会	岐阜県支部	6
令和 8 年 2 月 18 日	指導者協議会第 2 回役員会	岐阜県支部	6

(別表) 岐阜県青少年赤十字加盟校一覧

小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校		
岐阜市		羽島市		本巣市		養老郡		関市		美濃加茂市		多治見市			
岐阜	岐阜清流	足近	羽島	本巣	本巣	養老	高田	安桜	緑ヶ丘	太田	西	養正	陶都		
明郷	岐阜中央	小熊	竹鼻	外山	真正	広幡	東部	旭ヶ丘	旭ヶ丘	古井	東	精華	多治見		
徹明さくら	本荘	正木	中央	弾正	糸貫	上多度		桜ヶ丘	桜ヶ丘	山之上	双葉	共栄	平和		
白山	梅林	竹鼻	中島	真桑		池辺			瀬尻	下有知	蜂屋		昭和	小泉	
梅林	加納	中央		席田		笠郷			倉知	富野	加茂野		小泉	南ヶ丘	
華陽	長森	福寿		土貴野		養北			南ヶ丘	小金田	伊深		池田	北陵	
本荘	長良	堀津		一色		日吉	富岡		板取川	三和	市之倉		南姫		
日野	島	中島					田原	武芸川	下米田	滝呂	笠原		笠原		
長良	岩野田			羽島郡		不破郡		下有知	津保川	山手	南姫		根本		
島	精華	各務原市		東	岐南	垂井	不破	富野					北栄	脇之島	
三里	藍川	那加第一	那加	西	笠松	宮代	北	金竜		可児市			北栄		
鷺山	三輪	那加第二	桜丘	北		表佐	関ヶ原	洞戸		今渡南	蘇南	協之島			
加納	岐北	那加第三	稲羽	笠松		合原		板取		土田	中部	土岐市			
加納西	厚見	尾崎	川島	松枝		府中		博愛	帷子	西可児	土岐津		土岐津		
則武	青山	稲羽西	鷯沼	下羽栗		岩手		武芸	春里	東可児	下石		西陵		
長森南	陽南	稲羽東	緑陽			東		旭	広陵	妻木	濃南				
長森北	藍川東	川島	蘇原			関ヶ原		武儀	東明		駄知	駄知			
常磐	岐阜西	鷯沼第一	中央	大垣市		安八郡		上之保	広見		肥田	肥田			
木田	長森南	鷯沼第二		興文	興文	神戸	神戸	美濃市	南帷子		泉	泉			
岩野田	東長良	鷯沼第三		東	東	下宮	輪之内	美濃	美濃		桜ヶ丘	泉西			
黒野	境川	緑苑		西	西	南平野	登龍	牧谷	昭和	今渡北	濃南				
方県	草潤	八木山		南	南	北	東安	大矢田		兼山					
茜部		陵南		北	北	福東		藍見		中有知					
鶉		各務		日新	江並	仁木		郡上市		加茂郡		瑞浪市			
七郷		蘇原第一		安井	赤坂	大藪		八幡	八幡	坂祝	坂祝	瑞浪	瑞浪		
西郷		蘇原第二		宇留生	西部	名森		川合	八幡西	富加	川辺	土岐	瑞浪北		
市橋		中央		静里	星和	牧	相生	大和	川辺西	七宗	陶	瑞浪南			
岩		山県市		綾里		結	揖斐郡		口明方	白鳥	川辺東	八百津	稲津		
鏡島		高富	高富	江東				大和	北和	大和	高鷲	川辺北	八百津東部		明世
厚見		富岡	伊自良	川並		揖斐	白鳥	郡上東	牛道	郡南	上麻生	白川	日吉		
長良西		梅原	美山	中川		大和	白鳥	郡上東	那留	明宝	神渕	黒川	釜戸		
早田		大桑		小野		清水	大中		白鳥	郡上東	八百津	東白川	恵那市		
且格	桜尾	荒崎		小島		大野	北濃		和知		錦津	中野方	恵那西		
芥見	伊自良南	赤坂		谷汲		大野	石徹白		久田見		飯地	恵那北	恵那東		
合渡	伊自良北	青墓		大野		池田	高鷲		白川		黒川	武並	岩邑		
三輪南	美山	墨俣		大野分校			三城		蘇原		長島	山岡			
三輪北	いわ桜	瑞穂市		北			吉田	佐見	大井		明智				
網代			海津市				西	明宝	東野	串原					
城西	穂積	穂積	海津	日新	中		和良	大井第二		上矢作					
長良東	本田	穂積北	今尾	平田	南				可児郡御嵩町		三郷				
長森西	牛牧	巢南	海西	城南	東			上之郷	上之郷	岩邑					
芥見東	生津		石津		温知			御嵩	向陽	山岡					
岩野田北	南		城山		八幡			伏見	共和	明智					
長森東	中		下多度		宮地					串原					
柳津	西				池田					上矢作					
					養基										

小学校	中学校	小学校	中学校	公立高等学校	特別支援学校	幼稚園・保育園・こども園等	
中津川市		下呂市		岐阜	岐阜盲	岐阜市立加納幼稚園	恵那市立城ヶ丘こども園
南	第一	萩原	萩原南	岐阜北	岐阜聾	岐阜市立岐阜東幼稚園	恵那市立おさしま二葉こども園
東	第二	宮田	萩原北	長良	長良	羽島市立西部幼稚園	恵那市立岩村こども園
西	苗木	尾崎	小坂	加納	岐阜希望が丘	瑞穂市立ほづみ幼稚園	認定こども園 庭田保育園
苗木	坂本	小坂	下呂	羽島北	岐阜本巣	本巣市立真正幼児園	池辺育心会 池辺こども園
坂本	落合	下呂	竹原	岐阜総合学園	岐阜清流高等	本巣市立糸貫東幼児園	恵那市立やまびここども園
落合	阿木	竹原	金山	岐阜商業（県）	羽島	坂祝町立坂祝幼稚園	恵那市立みさとこども園
阿木	神坂	上原	金山	岐阜商業（定時）	揖斐	瑞浪市立瑞浪こども園	恵那市立武並こども園
神坂	坂下	金山		各務原	大垣	瑞浪市立稲津こども園	恵那市立中野方こども園
山口	加子母	馬瀬		各務原西	西濃高等	瑞浪市立桔梗こども園	恵那市立飯地こども園
坂下	付知			岐阜農林	海津	瑞浪市立陶こども園	恵那市立山岡こども園
川上	福岡	義務教育学校		岐阜商業（市）	郡上	瑞浪市立竜吟こども園	恵那市立明智こども園
加子母	蛭川	藍川北学園		揖斐	関	瑞浪市立日吉こども園	恵那市立串原こども園
付知北		岐阜大学教育学部附属		池田	中濃	瑞浪市立みどりこども園	恵那市立上矢作こども園
付知南		桑原学園		大垣北	可茂	瑞浪市立一色こども園	恵那市立大井こども園
福岡		根尾学園		大垣西	東濃	中部学院大学・中部学院大学短期大学部附属幼稚園	恵那市立東野こども園
蛭川		北学園		大垣養老	恵那	加納学園 こぼと第3幼稚園	養老町立日吉こども園
		南学園		大垣桜	下呂	本誓寺学園 明照幼稚園	擁童協会大野こども園
高山市		上石津学園		海津明誠	飛騨	平島学園 こじか幼稚園	樹心会豊木認定こども園
東	日枝	荘川さくら学園		郡上	高山日赤分校	泉学園 いづみ第2幼稚園	慈光会認定こども園うぐいす
西	松倉	白川郷学園		武義	飛騨古城	浄性寺学園 まどか幼稚園	大野町社会福祉協議会東さくらこども園
南	中山			関	（市立）岐阜	神谷学園 東海第一幼稚園	池田保育園 池田こども園
北	東山	私立小学校		加茂	（市立）かかみがはら支援	上楽学園 長森幼稚園	北方町立こども園
山王	丹生川	岐阜聖徳学園大学附属		加茂農林		上楽学園 ながもり第二幼稚園	
江名子	清見	帝京大学可児		八百津		天使学園 天使幼稚園	
新宮	宮			可児		岐阜聖徳学園大学附属幼稚園	
三枝	久々野	私立中学校		可児工業		平野学園 キートスガーデン幼稚園・幼保園・保育園	
岩滝	朝日	岐阜聖徳学園大学附属		瑞浪		飛騨学園 美鳩幼稚園	
花里	国府	麗澤瑞浪		東濃フロンティア		中部学院大学・中部学院大学短期大学部附属機関が在幼稚園	
丹生川	北稜	聖マリア女学院		中津		那加学園 子苑第一幼稚園	
清見		帝京大学可児		中津川工業		那加学園 子苑第二幼稚園	
宮		岐阜東		益田清風		杉山第三学園 うぬま第一幼稚園	
久々野		鶯谷		斐太		杉山第三学園 みたけ幼稚園	
朝日		多治見西高校附属		飛騨高山		杉山第三学園 鶴沼東保育所	
国府		美濃加茂		飛騨神岡		池田町立宮地保育園	
本郷		西濃学園				池田町立温知保育園	
栃尾						池田町立西保育園	
						組合立養基保育園	
飛騨市		私立高等学校		国立		八百津町立八百津保育園	
古川	古川	鶯谷		岐阜工業		八百津町立錦津保育園	
古川西	神岡	富田				八百津町立久田見保育園	
河合	山之村	岐阜東		私立高校通信制等		地の塩会 光の子保育園	
宮川		済美		啓晴		御嵩町立上之郷保育園	
神岡		岐阜聖徳学園		ぎふ国際		杉山第三学園 中保育園	
山之村		聖マリア女学院		清凌		御嵩町立伏見保育園	
		岐阜女子				荻須学園 御嵩保育園	
		岐阜第一					
		大垣日本大学		サポート校			
		帝京大学可児		七色高等学院			
		麗澤瑞浪		おおぞら高等学院			
	高山西						
	西濃（久瀬校）						

5 国際活動

紛争や災害で苦しむ人々を救うために、医療救援や衣食住の支援等を行っている。

（１）発展途上国に対する開発計画援助

日本赤十字社第３ブロック支部合同による国際活動事業として、また、岐阜県支部独自事業として、下表のとおり資金を拠出した。

項目	金額（円）	備考
レバノン プライマリーヘルス・スケールアップ事業	680,000	第３ブロック支部合同 （３事業で 1,700 千円 を拠出）
アジア・大洋州 給水・衛生災害対応キット整備事業	510,000	
南部アフリカ地域感染症対策事業	510,000	
モンゴル保健・教育支援事業	500,000	岐阜県支部独自事業
計	2,200,000	

（２）職員の派遣

令和７年度は、岐阜県支部管内施設からの国際救援活動にかかる派遣実績はなかった。

（３）NHK海外たすけあいキャンペーン

世界各地で多発する災害や紛争等による被災者等への緊急救援、保健衛生及び防災・減災等の分野における開発協力事業を日本赤十字社が実施するための資金として募集した。

実施期間	金額（円）
令和７年 12 月 1 日～25 日	1,063,288

（４）国際人道法等の普及

ジュネーヴ諸条約（紛争時においての人道遵守）や赤十字基本原則の周知について、指導者を養成し、勉強会や研修会等を通じた普及活動に取り組んだ。

○国際人道法セミナーの実施

開催年月日	名称	内容	参加者（人）
令和 8 年 2 月 12 日	令和 7 年度新規採用職員 就業前研修会	国際人道法（30 分）	4

- ・奉仕団基礎研修の中でミニ研修を実施（10 分×7 回）

① 指導者の養成

国際人道法の重要性を理解し、世界の現状と人道法を普及するための知識を持った人材を養成している。現在、県内各施設に計 7 名の指導者が在籍している。

（５）海外救援金の受付状況

海外で大規模な災害や紛争などの緊急事態が発生した際に、被災国の赤十字社や日本赤十字社が現地で実施する救援活動・復興支援活動の資金として、募集した。

救援金名	件数	金額（円）
中東人道危機救援金	6	21,168
バングラデシュ南部避難民救援金	3	10,218
ウクライナ人道危機救援金	107	461,163
2025 年ミャンマー地震救援金	20	160,859
2025 年アフガニスタン地震救援金	10	11,754
2025 年パキスタン洪水救援金	1	100
イラン及び周辺国人道危機救援金	4	15,147
合 計	151	680,409

（６）安否調査の実施

海外において消息不明になった日本人の安否や、海外から来日された方の安否調査を依頼により実施している。令和 7 年度は安否調査の依頼はなかった。

6 県内赤十字施設の運営と連携

(1) 医療施設の運営

①高山赤十字病院

○救急医療

飛騨地域唯一の三次救急医療機関として救命救急センターを運営し、救急車受入件数は昨年度と同程度の年間 3,755 件となった。

○周産期医療

飛騨地域唯一の産科医と小児科医の体制整備のある地域周産期母子医療センターとして 230 件の分娩を実施した。また、飛騨地域周産期母子小児医療センター運営委員会において、シンポジウム開催や他病院との連携体制を強化し、飛騨圏域における周産期医療体制の充実を図った。

○「飛騨地域医療連携協議会」の発足

新たに飛騨地域医療連携協議会が発足し、2040 年以降を見据えた新たな地域医療構想の議論が加速する中、改めて地域における当院の役割を検討し、急性期医療の充実に努めるとともに、「岐阜県北部広域医療センター構想」における新病院建設の具体化に向けて検討した。

○ロボット手術機器の導入

令和 8 年 1 月に 3 市 1 村の支援を得て飛騨地域で初の手術支援ロボット（Da Vinci）を整備した。これにより、遠方へ行くことがなく住み慣れた場所で手術を受けることができるようになり、飛騨地域におけるがん医療の質を向上させることができた。

○医療 DX の整備

医療版 LINE の医療コミュニケーションアプリ「JOIN」の活用により、セキュリティが安全な領域でチャットや画像データ等の送受が可能となり、医療従事者の業務効率化や負担軽減を図った。また、岐阜大学医学部附属病院と当院の救命救急センターを遠隔医療技術でつなぎ、集中医療に精通した医療従事者が協力して重症患者のケアができる診療支援システムを整備し、救急医療の強化を図った。

○居宅介護支援事業所の廃止

平成 12 年 4 月に開設されて以来 26 年にわたり地域の介護支援を担ってきたが、地域ニーズの変化の伴い、令和 8 年 3 月 31 日に廃止した。

年度	外来患者数（人）	入院患者数（人）
令和 6 年度	161,281	110,521
令和 7 年度	158,321	110,166
前年度比	98.2%	99.7%

②岐阜赤十字病院

令和 7 年度は、医療機能の最適化と経営基盤の強化を目的として、一般急性期病棟 5 病棟のうち 1 病棟を地域包括ケア病棟へ転換した。これにより、急性期治療後の患者に対する在宅復帰支援やリハビリテーション機能を強化し、地域医療ニーズへの対応力向上を図った。運用面では、多職種による週一カンファレンスを実施し、患者の病状や医療必要度、在宅復帰の可能性等を総合的に評価したうえで転棟を進め、急性期病棟の回転率向上と地域包括ケア病棟の安定稼働を実現し、収益改善に寄与した。

医療機器整備においては、世界同時発売の硝子体白内障手術装置（ユニティ）を導入するとともに、電気メスや手術台を更新し、手術の安全性および精度の向上を図った。さらに検査部門では、心電図解析装置、超音波診断装置、自動採血管準備装置を更新し、診断精度の向上と業務効率化を推進した。加えて、院内照明の LED 化を段階的に進めるとともに、照明制御システムを整備し、省エネルギー化と快適な療養環境の両立を図った。これらの取り組みにより、医療の質向上と持続可能な病院運営の強化を総合的に推進した。

また、地域住民や地域医療への貢献として、令和 7 年度においても市民公開講座の実施や、地域の医療機関の方々を対象とした地域医療連携懇談会を開催した。

年度	外来患者数（人）	入院患者数（人）
令和 6 年度	133,062	67,120
令和 7 年度	127,991	64,353
前年度比	96.2%	95.9%

（２）血液事業の推進

令和 7 年度の事業運営にあたっては、特に若年層への献血の普及と推進を図るため、関係機関等と連携し各種イベントを開催した。岐阜県との連携では、高等学校や教育委員会、校長会や学校医への献血協力依頼や県の献血状況の説明等を行った。献血セミナーは、県内各地で小学校から大学まで幅広く受け入れていただいた。

献血ルーム「岐阜献血ルームアクティブ G」では、高校生の献血意欲向上を目的とした「献血で愛の花を咲かせよう」プロジェクトを引き続き行うことにより、令和 7 年度は 782 人（前年度比 184 人減）の高校生に協力いただくことができた。

新たな企画として、県高等学校文化連盟のご協力のもと、高等学校の写真部等にポスターの作成をお願いして、高校生から高校生へ献血を呼びかける「献血のある風景」ポスターリレーを始めた。同じく新たな企画として、学生ボランティアと岐阜県洋菓子協会のコラボ企画として、ハロウィンキャンペーンを実施した。

また、献血カードの廃止に伴い、献血 Web 会員サービス「ラブラッド」への会員登録並びに献血 Web 予約を推進し、待ち時間の削減を図った。

医療機関からの輸血用血液製剤の発注において、利便性向上及び過誤防止を図ることを目的に導入した WEB 発注システムも、医療機関のご理解とご協力により、年度末には利用率 99.9%となった。医療機関に対しては、輸血業務担当者との懇話会や輸

血部との情報交流会等を開催し、連携強化と情報交換を図った。

① 献血の状況

区 分		令和 6 年度	令和 7 年度	前年度比
200mL 献血		2,986 人	2,757 人	92.3%
400mL 献血		44,960 人	43,817 人	97.5%
成分献血	血 漿	10,488 人	10,141 人	96.7%
	血小板	8,126 人	8,556 人	105.3%
計		66,560 人	65,271 人	98.1%

② 供給の状況

区 分		令和 6 年度	令和 7 年度	前年度比
赤血球製剤		115,197 単位	114,950 単位	99.8%
血漿製剤		33,327 単位	31,226 単位	93.7%
血小板製剤		131,335 単位	129,915 単位	98.9%
計		279,859 単位	276,091 単位	98.7%

※1 単位とは、200mL 献血由来の製剤をいう。400mL 献血由来は、2 単位製剤となる。

※数値は、当センター供給エリアにおける単位数を示す。供給エリアの内訳は以下のとおり。

岐阜県：東濃地区（多治見市、土岐市、瑞浪市、恵那市、中津川市）を除く全域

愛知県：一宮市、江南市、犬山市（一部）、扶桑町

（３）赤十字施設間会議の開催

① 支部施設業務連絡会議（２回）

開催日・会場	令和 7 年 6 月 11 日（水）日本赤十字社岐阜県支部 2 階中会議室
主な協議事項	・ 令和 7 年度職員採用試験応募状況 ・ 令和 9 年度採用者獲得のための方策 ・ 令和 7 年度研修実施計画について ・ 令和 8 年度異動・交流対象者について 他
開催日・会場	令和 8 年 2 月 9 日（月）OKB ふれあい会館 4 階 407 小会議室
主な協議事項	・ 令和 8 年度支部・施設 職員人事交流・異動について ・ 人材育成基本方針（案）について ・ 令和 9 年度新規職員採用について ・ 令和 8 年度研修実施計画について ・ 令和 8 年度監査日程と評議員会の日程について ・ コンプライアンス研修受講状況について 他

②支部・施設事務（事業）部長連絡会議（1回）

開催日・会場	令和7年11月18日（火）オンライン会議
主な協議事項	・人材育成基本方針の策定について ・採用に係る施策への協力依頼 他

開催日・会場	令和7年12月10日（金）日本赤十字社岐阜県支部2階中会議室
主な協議事項	・令和7年度職員採用試験の結果について ・令和8年度人事交流について ・令和8年度社長任命職員の人事について ・令和9年度職員採用について ・令和8年度各種研修日程について ・人材育成基本方針について 他

③人事交流・異動候補者調整会議（1回）

開催日・会場	令和8年1月14日（水）日本赤十字社岐阜県支部2階中会議室
主な協議事項	・令和8年度人事交流・異動候補者について ・令和8年度新規採用職員の配属について ・令和9年度の人事交流・異動候補者予定について ・人材育成基本方針（案）について ・昇格基準等の運用について ・コンプライアンス研修受講状況について 他

（4）監査及び予備調査の実施

日本赤十字社では、業務の管理及び執行並びに会計を監査するため外部監査法人による外部監査と、日本赤十字社監査室による内部監査が行われている。令和7年度は、高山赤十字病院を対象とし、1月に外部監査が実地で行われた。

また、岐阜県支部では、監査委員による監査のほか、同監査を補完するため、令和6年度及び7年度における会計及び事業の執行について、公認会計士等による予備調査を期中・期末に実施している。

いずれの監査においても、検出事項については、速やかに是正改善を行い報告した。今後も適正な業務遂行を図っていく。

①外部監査法人による会計監査（実地監査）

対象施設名	高山赤十字病院
監査日	令和8年1月7日～9日

調査内容	①組織概要の把握 ②規定や会計処理マニュアルの運用状況の確認 ③内部統制の整備状況の確認 ④会計方法の確認 ⑤現物確認
------	---

②監査委員による監査

対象施設名	監査日
岐阜県支部、高山赤十字病院 岐阜赤十字病院、岐阜県赤十字血液センター	令和7年5月28日

③公認会計士等による予備調査

ア) 令和6年度事業に係る予備調査（実地監査）

施設名	期末予備調査実施日
岐阜県支部	令和7年5月2日
高山赤十字病院	令和7年4月22日
岐阜赤十字病院	令和7年4月21日
岐阜県赤十字血液センター	令和7年4月28日

イ) 令和7年度事業に係る予備調査

施設名	期中予備調査実施日
高山赤十字病院	令和7年10月23、24日
岐阜赤十字病院	令和7年10月30、31日

7 看護師の養成

(1) 赤十字看護師の養成

保健医療活動、災害救護活動など国内外で活躍できる優秀な看護師を養成するため、日本赤十字豊田看護大学岐阜県支部長推薦制度を設けて、看護師の養成を行った。



日本赤十字豊田看護大学（愛知県豊田市）

学年	在籍者数（人）
第1学年	1
第2学年	3
第3学年	1
第4学年	2
計	7

（令和8年3月31日現在）

(2) 学生確保のための活動

① 支部長推薦入学制度の周知

ア) 高校訪問の実施

岐阜県支部長推薦生の確保のため、過去に実績のある県内高等学校を中心に訪問し、進路指導担当教諭に下記内容の説明を行った。

訪問日／学校数	①令和7年7月10日（木）／岐阜地域の高等学校 6校 ②令和7年7月11日（金）／高山地域の高等学校 5校
内 容	・大学概要説明 ・高山・岐阜赤十字病院の紹介 ・令和8年度赤十字特別推薦選抜試験制度の説明 ・岐阜県支部長推薦入学生奨学金制度の説明

イ) オープンキャンパスへの参加

大学オープンキャンパスにブースを出展し、岐阜県支部長推薦制度のPRを行った。

開 催 名	令和8年度日本赤十字豊田看護大学オープンキャンパス
開催日・会場	令和7年8月20日（水）／日本赤十字豊田看護大学
訪 問 者 数	無
内 容	・大学概要説明 ・令和8年度赤十字特別推薦選抜試験制度の説明 ・岐阜県支部長推薦入学生奨学金制度の説明

8 赤十字思想の普及・広報

(1) イベントの開催

赤十字思想の普及と日頃の活動を紹介するため、世界赤十字デーに合わせたライトアップ（レッドライトアッププロジェクト）やイベント等を開催した。

実施場所等	開催日
（レッドライトアッププロジェクト） 岐阜県庁舎、岐阜市庁舎、大垣市役所本庁舎東側 「キューブモニュメント」	令和7年5月8日
地域イベントなどに広報ブースを出店（17市町）	通年
マーサ 21 ショッピングセンター（赤十字フェア ぎふ／活動紹介）	令和7年11月8日



赤十字フェアぎふ（子ども赤十字コスチューム撮影、救急法体験）



地域イベント広報（健康フェア可児）

(2) 広報資材の作成と配布

① 本社作成

資 材 名	部 数		
「赤十字NEWS」 （市町村窓口、公共施設、赤十字関係者へ配布）	4月号	1,300部	16,400部
	5月号	1,450部	
	6月号	1,500部	
	7月号	1,300部	
	8月号	1,500部	
	9月号	1,550部	
	10月号	1,450部	
	11月号	1,400部	
	12月号	1,300部	
	R8.1月号	1,200部	
	2月号	1,250部	
	3月号	1,200部	

ポスター（運動月間／ブランディング広報）	2,900 部
パンフレット	27,000 部

②支部作成

資 材 名	部 数		
「日赤ぎふ」（県内全世帯へ配布）	615,000 部		
「赤十字だより ぎふ」（広報紙） （市町村窓口、公共施設、赤十字関係者へ配布）	第 62 号（ 7 月）	12,000 部	22,700 部
	第 63 号（ 1 月）	10,700 部	
災害用簡易トイレ（ノベルティ）	5,000 枚		
クリアファイル（ノベルティ）	3,000 枚		

（３）メディアを活用した広報展開

新聞紙面による広告掲載（運動月間）	中日新聞・岐阜新聞・朝日新聞	5 月 8 日
岐阜放送テレビ CM放映	15 秒スポット／1 日 1 回放送	5,6,10,11 月
ぎふチャン ラジオCM放送	20 秒フリースポット	4 月～3 月
路線バス ステッカー広告	東濃鉄道・北恵那交通・濃飛バス／計 58 台	4 月～3 月
路線バス 社内液晶広告	岐阜バス・名阪近鉄バス／120 台	4 月～3 月
日本赤十字社岐阜県支部公式 YouTube チャンネル		4 月～3 月
高校生向け広報誌への広告掲載	岐阜新聞：高校ダイアリー春号	3 月

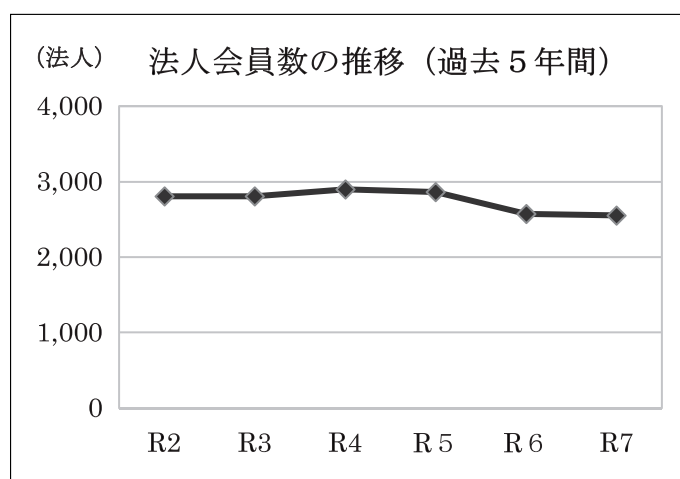
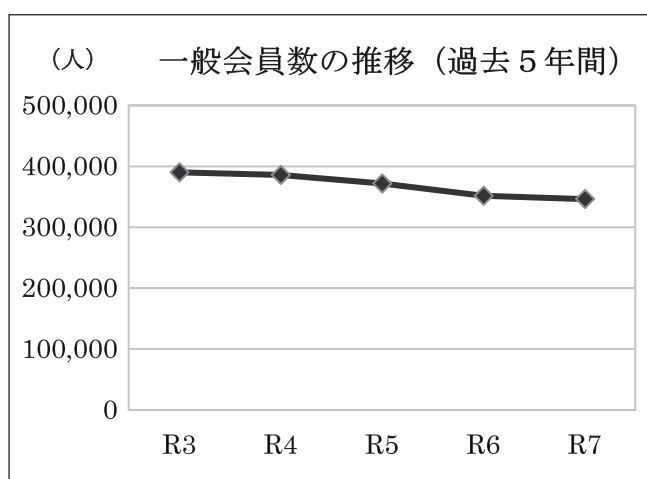
9 会員と活動資金

(1) 会員及び社資の状況

日本赤十字社の事業は、会員等からいただいた社資によって運営されており、会員及び社資の状況は次のとおりである。

① 会員の状況

区分 年度	一般会員数 (人)	一般協力 会員数(件)	一般計	法人会員数 (法人)	法人協力 会員数(件)	法人計
R3	754	389,390	390,144	477	2,332	2,809
R4	940	384,616	385,556	508	2,390	2,898
R5	1,039	371,200	372,239	503	2,356	2,859
R6	902	351,150	352,052	438	2,137	2,575
R7	798	345,390	346,188	429	2,124	2,553

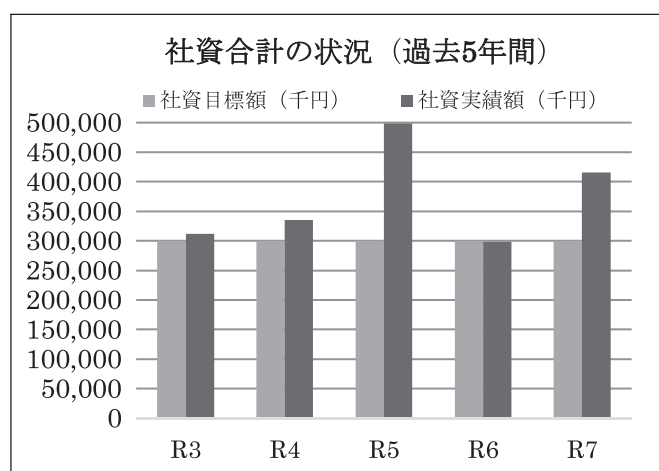
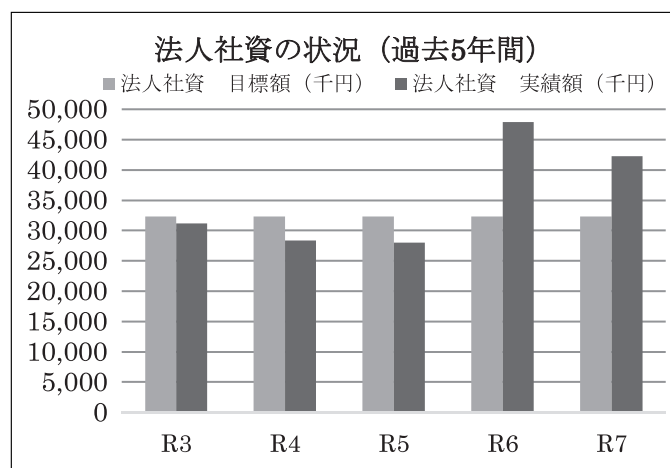
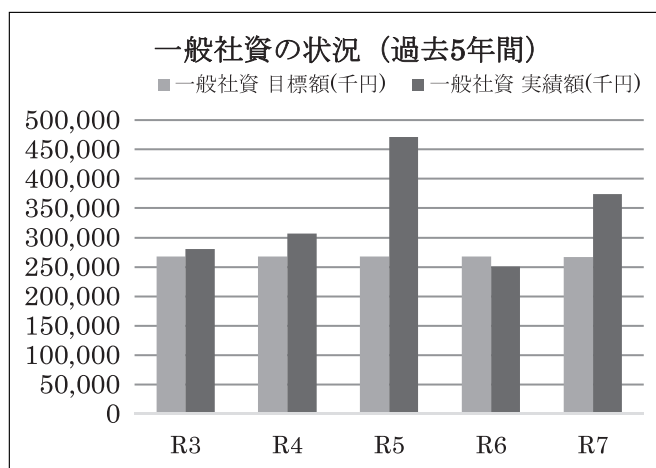


※会員・協力会員の合計

② 社資の募集状況

区分 年度	一般社資			法人社資			計		
	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)
R3	267,700,000	280,930,430	104.9	32,300,000	31,180,417	96.5	300,000,000	312,110,847	104.0
R4	267,700,000	307,168,034	114.7	32,300,000	28,317,540	87.7	300,000,000	335,485,574	111.8
R5	267,700,000	471,070,398	175.9	32,300,000	28,008,773	86.7	300,000,000	499,079,171	166.3
R6	267,700,000	250,172,062	93.4	32,300,000	47,867,484	148.1	300,000,000	298,039,546	99.3
R7	267,700,000	373,683,813	139.6	32,300,000	42,262,992	130.8	300,000,000	415,946,805	138.6

※ 上記社資実績額には、一般指定事業社資収入扱いとなる海外救援金は含まれておりません。



（２）会員の拡充強化

赤十字の目的に賛同し、運営に参画する会員の拡充を進めるためダイレクトメールの送付や、献血協力者や県内商工会議所を訪問し振込用紙付会員募集チラシを配布・配架した。

また、社会貢献のための遺贈・相続財産寄付の寄付先として日本赤十字社を広く周知するため、遺贈セミナーを開催したほか、金融機関や各士業との連携を図った。

【ダイレクトメール送付数】

	個人	法人	計
令和３年度	28	3,585	3,613
令和４年度	839	6,623	7,462
令和５年度	321	6,577	6,898
令和６年度	938	7,335	8,273
令和７年度	1,528	8,357	9,885

【会員募集チラシ配架・配布先】

岐阜県図書館	OKBふれあい会館	ぎふ清流文化プラザ
岐阜メモリアルセンター	ソフトピアジャパン	ぎふメディアコスモス
セラミックパーク MINO	岐阜商工会議所	大垣商工会議所
各務原商工会議所	関商工会議所	恵那商工会議所
美濃加茂商工会議所	高山商工会議所	岐阜青年会議所
大垣青年会議所	各務原青年会議所	美濃加茂青年会議所
恵那青年会議所	可児商工会議所	

【遺贈・相続財産寄付関係】

遺贈セミナー開催

日 時：令和 7 年 9 月 17 日（水）10:00～11:30
 会 場：日本赤十字社岐阜県支部 2 階大会議室
 参加者：11 名
 内 容：『思いを伝える・のこす 人生 100 年時代の終活』
 共 催：三井住友信託銀行

（3）岐阜県赤十字有功会

① 概況

岐阜県赤十字有功会は、社資功労による有功章を受章された個人・法人の方々が、日本赤十字社の活動を支援するとともに、会員相互の親睦を図ることを目的として、平成 21 年 3 月 4 日に設立された任意の支援団体である。

【岐阜県赤十字有功会会員数】

	個人会員	法人会員	計
令和 5 年度	33	90	123
令和 6 年度	28	89	117
令和 7 年度	33	91	124

② 事業

ア) 総会の開催

日 時：令和 7 年 7 月 15 日（火）10 時～12 時
 会 場：ホテルグランヴェール岐山 岐阜市柳ヶ瀬通 6－1 4
 議 案：・令和 6 年度事業報告及び歳入歳出決算報告について
 ・令和 7 年度事業計画（案）及び歳入歳出予算（案）について
 ・岐阜県赤十字有功会役員改選について

審議結果：各議案とも原案どおり承認

講演会：演題 心不全を予防しよう

講師 岐阜赤十字病院 院長 長島 賢司

イ) 有功会研修旅行の実施

日時：令和7年5月9日（金）

場所：大阪・関西万博

赤十字パビリオン「国際赤十字・赤新月運動館」

参加者：有功会員等 26名、支部職員 5名

ウ) 青少年赤十字加盟校への図書贈呈

子どもたちに豊かな心を育んでもらうことや、赤十字について知ってもらうことを目的に、平成21年度から青少年赤十字加盟校へ図書を贈呈しており、新たに青少年赤十字に加盟した10の学校・園へ贈呈した。

新規加盟校（園）	幼稚園	2 園
	中学校	1 校
	義務教育学校	2 校
	高等学校ほか	4 校
	特別支援学校	1 校

贈呈式：令和8年2月16日（月）

会場：岐阜県立各務原西高等学校（各務原市）

エ) 会報誌の発行

「有功会ぎふ」（第17号）を300部作成し、事業の紹介や会員募集を実施した。

（4）企業等とのパートナーシップ

社会貢献活動に意欲のある企業・団体を対象に、創立・周年を記念した寄付や寄付つき商品、株主優待、ポイントプログラムなどを活用し、赤十字活動との連携を進める。

① パートナー企業の状況

寄付つき商品や株主優待、ポイントプログラムとして、日本赤十字社への寄付を導入

導入企業	寄付金付自動販売機	25 社
	株主優待	3 社
	ポイント交換	1 社

②カウンタープレートの配付

日本赤十字社の活動支援企業であることを表すカウンタープレートを法人会員、寄付金付き自動販売機設置先ならびに有功会法人会員へ配布

配 布 先	法人会員	454 社
	有功会法人会員	91 社
	寄付金付き自動販売機設置先 (有功会員を除く)	24 社

(5) 表彰

日本赤十字社への寄付や赤十字活動における顕著な功労者に対し表彰を行った。

【表彰の種類と件数】

功労区分	表彰区分	件数
社資功労（個人）	銀色有功章	7 件
	金色有功章	6 件
	社長感謝状	10 件
	厚生労働大臣感謝状	5 件
	紺綬褒章	0 件
社資功労（法人・団体）	銀色有功章	12 件
	金色有功章	12 件
	社長感謝状	8 件
	厚生労働大臣感謝状	2 件
	紺綬褒章	1 件
業務功労（個人、法人・団体）	銀色有功章	40 件
	金色有功章	22 件
	社長感謝状	0 件

※社資功労：社資累計額が 20 万円以上で
銀色有功章
社資累計額が 50 万円以上で
金色有功章
個人 100 万円以上、法人 300 万円
以上で厚生労働大臣感謝状
個人 500 万円以上、法人 1,000 万円
以上で紺綬褒章
業務功労：赤十字関係役職功労
奉仕団・奉仕団員継続活動功労
青少年赤十字加盟校継続活動功労
赤十字講習指導員継続活動功労
献血功労 等

【金色有功章：個人】



有功章記



有功章(男性)



有功章(女性)



略章

【金色有功章：法人・団体】



有功章(楯型)



略章

10 役員・評議員

(1) 岐阜県支部の組織

岐阜県支部の運営は、支部評議員会等の決定事項を踏まえ、各地区・分区の協力を得ながら行っている。評議員会、地区分区との主要会議の状況は次のとおりである。

①日本赤十字社及び岐阜県支部役員等の就任状況

P. 60～ 参照

②地区分区所在一覧

P. 65～ 参照

(2) 評議員会等の開催状況

①評議員会の開催状況

令和7年6月11日（水） 会場 岐阜県支部大会議室	
議 題	1 令和6年度事業報告について 2 令和6年度一般会計・医療施設特別会計歳入歳出決算について

令和8年2月9日（月） 会場 OKB ふれあい会館3階大会議室	
議 題	1 令和7年度一般会計・医療施設特別会計歳入歳出補正予算について 2 令和8年度事業計画について 3 令和8年度一般会計・医療施設特別会計歳入歳出予算について

②評議員会の開催状況（文書審議）

令和7年6月27日（金）
日本赤十字社岐阜県支部支部長の選出について

令和7年7月25日（金）
日本赤十字社岐阜県支部副支部長の選出について

令和8年3月2日（月）
日本赤十字社岐阜県支部代議員の選出について

② 地区・分区担当課長ならびに担当者会議の開催状況

開催日	場所	出席者 (人)	説明内容
令和7年4月8日(火)	飛騨総合庁舎	9	1 事業計画 2 組織振興関係事業 3 事業推進関係事業
令和7年4月11日(金)	可茂総合庁舎	26	
令和7年4月16日(水)	恵那総合庁舎	10	
令和7年4月18日(金)	西濃総合庁舎	26	
令和7年4月22日(火)	岐阜県支部	20	

11 人材育成

(1) 職員研修の実施状況

支部及び県内赤十字施設職員の資質向上のため、本社、第3ブロック、支部が主催する各種研修へ職員を参加させ、人材育成を図った。

主催者	研修名	開催日	参加者 (人)
本社	中堅幹部職員養成研修 (オンライン・動画視聴)	【前半部】 令和7年 8月 27日 【後半部】 令和7年 9月 3日～5日	1
	基幹幹部職員養成研修 (オンライン・動画視聴)	【前半部】 令和7年 10月 15日 【後半部】 令和7年 10月 23日～24日	1
	eラーニング研修	令和7年 5月～12月	14
ブロック	新任課長研修	令和7年 10月 14日～15日	5
	新任係長研修	令和7年 11月 12日～13日	5
支部	令和7年度新規採用職員研修	令和7年 4月 23日～25日	4 (2)
	令和7年度採用職員1年目フォローアップ研修	令和8年 2月 19日～20日	4
	令和6年度採用職員2年目フォローアップ研修	令和8年 3月 12日～13日	6 (2)
	既任係長級職員研修	令和7年 11月 15日～16日	6
	中堅職員研修	令和7年 11月 20日～21日	7
	内定者研修 (令和8年度採用)	令和7年 10月 16日	4 (2)
	新規採用職員就業前研修 (令和8年度採用)	令和8年 2月 12日、13日	4 (2)
	コンプライアンス研修 (県内赤十字施設全職員対象)	令和7年 8月～令和8年 3月	1,289

※ () 内は、高山赤十字病院独自採用者数を再掲

(2) 職員の採用状況

次世代の赤十字事業を担う優秀な職員を採用するため、岐阜県支部では、事務系一般職の合同採用試験を実施しており、令和7年度は次のとおり実施した。

①令和7年度新規職員採用試験実施状況（令和8年度採用者）

試験名		開催日	合格者数 (名)
新規職員採用試験 (令和8年度採用)	第1次試験 書類選考 課題提出	令和7年3月25日(月)～ 令和7年5月16日(木)	22
	第2次試験 (グループディスカッション)	令和7年6月17日(火)	3
	第2次試験 (個人面接)	令和7年6月23日(月) 令和7年6月26日(木)	

②令和7年度新規採用職員

施設名	新規採用職員配属数(名)
高山赤十字病院	1
岐阜赤十字病院	1

③令和8年度採用予定職員内定式

開催日	参加者数(名)
令和7年10月16日(木)	4(2)

※()内は、高山赤十字病院独自採用者数を再掲

Ⅲ 令和 7 年度

一般会計

歳入歳出決算報告

令和7年度 日本赤十字社岐阜県支部一般会計歳入歳出決算一覧表（令和6年度比較）

収入の部

科 目	R7年度決算額（円）	R6年度決算額（円）	比較増減（円）	主な増減理由（千円）
1. 社資収入	416,478,942	298,039,546	118,439,396	・相続財産寄付等の大口寄付金増によるもの（128,140千円） 支部：59,140千円、高山赤十字病院：69,000千円 ・地区区分からの社資収入減によるもの（△6,700千円）
2. 委託金等収入	262,804	4,170,803	△ 3,907,999	・令和6年能登半島地震災害にかかる災害補償収入の受入額減によるもの
3. 補助金及び交付金収入	13,680,345	5,030,892	8,649,453	・施設への寄付にかかる本社交付金の受入額増によるもの（8,972千円）
5. 繰入金収入	40,532,137	71,551,000	△ 31,018,863	・R6年度は日本赤十字社会計規則改正により資金の積み替え（△71,551千円）を行ったため ・地区区分区救護資器材整備のため、災害等資金より40,000千円を繰り入れたことによるもの
9. 資産収入	1,515,830	-	皆増	・支部車両更新により、旧車両（三菱 キャンター：トラック）を売却したことによるもの
10. 雑収入	4,119,468	8,779,197	△ 4,659,729	・看護師の退職による奨学金返還額減によるもの（△3,350千円） ・地区区分区配備災害救護車両にかかると補助金額減によるもの（△1,180千円）
11. 前年度繰越金	74,224,918	70,992,633	3,232,285	・大口寄付金収入があったことによるもの
合 計	550,814,444	458,564,071	90,734,543	

組 織

支出の部

科 目	R7年度決算額（円）	R6年度決算額（円）	比較増減（円）	主な増減理由（千円）
1. 災害救護事業費	39,582,121	35,865,285	3,716,836	・3B救護班要員研修会実施によるもの（1,679千円） ・R6年度は能登半島地震災害救護活動を行ったことによるもの（△5,700千円） ・地区区分へ救護物資整備を行ったことによるもの（7,911千円）
2. 社会活動費	63,757,786	57,324,256	6,433,530	・R6年度は奉仕団のつどいを開催したことによるもの（△1,091千円） ・JRC加盟校へのワンタッチテント配備数増によるもの（10校→43校）（8,903千円）
3. 国際活動費	2,732,137	2,100,000	632,137	・個人住民税適用海外救護金の受け入れに伴う増（532千円）
4. 指定事業地方振興費	7,032,137	5,600,000	1,432,137	・個人住民税適用海外救護金の受け入れに伴う増（532千円） ・病院への指定寄付金増によるもの（900千円）
5. 地区区分区交付金支出	44,261,937	45,906,052	△ 1,644,115	・地区区分区からの社資収入減によるもの
6. 社業振興費	39,471,543	33,824,185	5,647,358	・職員の人事異動に伴う給与費増によるもの（2,616千円） ・デジタルサイネージの整備によるもの（924千円） ・新しいDM資材の作成とDM発送先の拡充を図ったことによるもの（2,329千円）
7. 基盤整備交付金・補助金支出	80,883,786	9,574,119	71,309,667	・病院への使途指定寄付金増に伴う繰出額増によるもの（70,000千円） ・病院への交付金額の増によるもの（1,200千円）
10. 積立金支出	79,327,910	98,225,916	△ 18,898,006	・R6年度は大口寄付の一部を災害等資金へ積み立てたため（△61,551千円） ・大口社資の一部を災害等資金に積み立てを行ったことによるもの（42,500千円）
12. 総務管理費	51,000,307	48,867,020	2,133,287	・ベースアップによる給与費の増によるもの（1,418千円） ・コンプライアンス研修実施によるもの（600千円）
13. 資産取得及び資産管理費	11,089,777	4,594,872	6,494,905	・屋上の防水工事実施によるもの（6,490千円）
14. 本社送納金支出	60,180,320	42,457,448	17,722,872	・支部および病院への大口寄付が増加しそれに伴う日本赤十字社本社への送納額が増額となったことによるもの
15. 予備費	0	0	0	
合 計	479,319,761	384,339,153	94,980,608	

収入支出差引額	71,494,683	74,224,918	△ 4,246,065	歳入歳出差引額 71,494,683円 は令和8年度へ繰越
---------	------------	------------	-------------	--------------------------------------

令和7年度 一般会計歳入歳出決算報告書

歳入

款	科 目 項	予 算 現 額			決算額	予算現額に 比し増減	内 訳
		当初予算額	補正予算額	計			
2. 支部収入		円	円	円	円	円	円
	1. 社資収入	300,000,000	115,120,000	415,120,000	416,478,942	1,358,942	1 一般社資収入 (1) 会費収入 (2) 寄付金等収入 (3) 指定事業社資収入 (4) 過年度一般社資収入 法人社資収入 (1) 指定事業社資収入 (2) その他社資収入 (3) 過年度法人社資収入
	2. 委託金等収入	0	0	0	262,804	262,804	1 委託金等収入 (4) 災害等補償収入
	3. 補助金及び交付金収入	5,774,000	9,000,000	14,774,000	13,680,345	△ 1,093,655	1 補助金収入 (2) 市町村補助金収入 本社交付金収入 2 管理経費調整交付金収入 (4) 施設整備交付金収入 (5) 障害者雇用促進事業助成金収入 その他本社交付金収入

科 目		予 算 現 額			決算額	予算現額に 比し増減	内 容	説 明
款	項	当初予算額	補正予算額	計				
	5. 繰入金収入	円 50,000,000	円 533,000	円 50,533,000	円 40,532,137	円 △ 10,000,863	1 資金繰入金収入 (1) 災害等資金繰入金収入 (2) 国際救護活動資金繰入金収入	円 40,532,137 40,000,000 532,137
	9. 資産収入	0	0	0	1,515,830	1,515,830	1 資産収入 (4) 物品売却収入	1,515,830 1,515,830
	10. 雑収入	1,702,000	0	1,702,000	4,119,468	2,417,468	2 負担金収入 (1) 講習会等負担金収入 3 雑収入 (3) 過年度収入 (4) 雑収入	1,223,851 1,223,851 2,895,617 3,163 2,892,454
	11. 前年度繰越金	38,000,000	0	38,000,000	74,224,918	36,224,918	1 前年度繰越金	74,224,918
歳 入 合 計		395,476,000	124,653,000	520,129,000	550,814,444	30,685,444		

歳 出

款	科 目 項	予算現額					決算額	不用額	内 訳
		当初予算額	補正予算額	流用増減額	計				
2. 支部費									
	1. 災害救護事業費	45,055,000	0	0	45,055,000	5,472,879	39,582,121		1 災害救護指導事業費 (1) 救護班指導費 11,378,161 (2) 救助事業費 3,619,197 (3) 救護業務管理費 160,257 7,598,707 2 災害救護整備費 15,998,198 (1) 整備費 15,663,770 (2) 資材費 334,428 3 非常災害救援物資整備費 7,977,408 (1) 救援物資整備費 7,977,408 5 救護看護師指導養成費 4,228,354 (1) 養成費 4,228,354
	2. 社会活動費	76,804,000	0	0	76,804,000	13,046,214	63,757,786		1 救急法等普及費 12,072,088 (1) 救急法等普及事業費 4,476,490 (2) 救急法等指導管理費 7,595,598 2 奉仕団活動費 13,593,244 (1) 奉仕団指導育成費 7,995,435 (2) 奉仕団研修費 186,841 (3) 奉仕団活動管理費 5,410,968 3 青少年赤十字活動費 29,104,990 (1) 青少年赤十字指導育成費 17,418,680 (2) 青少年赤十字研修費 247,070 (3) 青少年赤十字国際交流事業費 357,953 (4) 青少年赤十字活動管理費 11,081,287

款	科 目	予算現額				決算額	不用額	内 容	計 算	内 容	計 算
		当初予算額	補正予算額	流用増減額	計						
								4 社会福祉活動費 (1) 社会福祉活動指導事業費 7 血液事業費 (1) 血液事業普及整備費 (2) 血液事業管理費		379,064 379,064 8,608,400 224,097 8,384,303	
	3. 国際活動費	2,287,000	533,000	0	2,820,000	2,732,137	87,863	1 国際救援活動費 (1) 国際救援事業費 (2) 国際開発協力事業費 (3) 国際活動諸費		2,732,137 1,722,137 1,010,000 0	
	4. 指定事業地方振興費	8,700,000	533,000	0	9,233,000	7,032,137	2,200,863	1 指定事業地方振興費 (1) 災害救護設備整備費 (3) 採血受入機関整備費 (6) 支部国際活動基金積立金		7,032,137 6,500,000 0 532,137	
	5. 地区分区分交付金支出	50,074,000	0	0	50,074,000	44,261,937	5,812,063	1 地区分区分交付金支出 (1) 事務費交付金支出 (2) 事業費交付金支出		44,261,937 23,294,264 20,967,673	
	6. 社業振興費	46,141,000	0	0	46,141,000	39,471,543	6,669,457	1 社業振興費 (1) 社資募集及び会員管理費 (3) 社業振興業務管理費 2 広報活動費 (1) 広報活動費 (2) 広報業務管理費		17,876,594 7,062,204 10,814,390 21,594,949 11,433,425 10,161,524	

科 目		予算現額					決算額	不用額	内 訳	
款	項	当初予算額	補正予算額	流用増減額	計					
	7. 基盤整備交付金・補助金支出	16,211,000	64,673,000	0	80,884,000	円	80,883,786	円 214	1 基盤整備交付金・補助金支出 (1) 医療施設基盤整備交付金支出 (2) 血液事業基盤整備交付金支出	80,883,786 80,831,000 52,786
	10. 積立金支出	36,400,000	42,500,000	428,000	79,328,000	円	79,327,910	90	1 資金積立金支出 (1) 災害等資金積立金支出 (3) 施設整備準備資金積立金支出 3 退職給与資金特別会計積立金支出 (1) 退職給与資金特別会計積立金支出	72,500,000 42,500,000 30,000,000 6,827,910 6,827,910
	12. 総務管理費	57,499,000	0	0	57,499,000	円	51,000,307	6,498,693	1 評議員会等諸費 (1) 評議員会等諸費 2 総務管理費 (1) 総務費 (2) 業務費 (3) 保険料等負担金 (4) 管理費 3 監査費 (1) 監査委員監査費 (2) 外部監査費 (3) その他諸費	299,516 299,516 48,122,830 7,145,059 3,860,409 15,554,784 21,562,578 2,577,961 4,961 593,000 1,980,000
	13. 資産取得及び資産管理費	12,110,000	0	0	12,110,000	円	11,089,777	1,020,223	1 資産取得及び資産管理費 (1) 修繕費 (2) 損害保険料 (5) 備品費 (8) 管理諸費	11,089,777 6,714,300 492,081 0 3,883,396

科 目		予算現額					内 訳
款	項	当初予算額 円	補正予算額 円	流用増減額 円	計 円	決算額 円	
	1 4 . 本社送納金支出	42,195,000	16,414,000	1,572,000	60,181,000	60,180,320	円 1 本社送納金支出 60,180,320 (1) 本社送納金支出 60,180,320
	1 5 . 予備費	2,000,000	0	△ 2,000,000	0	0	円 1 予備費 0
歳 出 合 計		395,476,000	124,653,000	0	520,129,000	479,319,761	円 40,809,239

歳入歳出差引残額 71,494,683 円 (翌年度繰越額)

上記決算額のとおり相違ありません。

令和 8 年 3 月 31 日

日本赤十字社岐阜県支部 支部長 江 崎 禎 英

資 金 增 減 明 細 表

(単位：円)										
	前期末在高 (うち出資額)	利子収入等 (うち出資利子)	差損益金等	積立額 (うち償還額)	取崩額 (うち新規出資額)	当期末在高 (うち出資額)	対前年度増減額 (うち出資額)	当期末積立目標額	取崩事由その他の事項 (差損益金があるときはその内容)	
災害等資金		803,095,362 (0)	1,754,514 (0)	0	42,500,000 (0)	40,000,000 (0)	807,349,876 (0)	4,254,514 (0)	763,000,000	
	本体資金	48,000,000	0	0	0	0	48,000,000	0	48,000,000	
	財政調整資金	605,095,362	1,754,514		42,500,000		649,349,876	44,254,514	605,000,000	
	特定事業目的資金	150,000,000	0	0	0	40,000,000	110,000,000	△ 40,000,000	110,000,000	
	番号									
	1	岐阜県内の災害救護体制強化にかかる資機材の整備	150,000,000		40,000,000	40,000,000	110,000,000	△ 40,000,000	110,000,000	岐阜県内の災害救護体制強化にかかる資器材の整備、配分を行つたため
		0					0	0		
		0					0	0		
		0					0	0		
		0					0	0		
		0					0	0		
		0					0	0		
		0					0	0		
		0					0	0		
国際救護活動資金	21,374,409 (0)	31,999 (0)	0	532,137 (0)	532,137 (0)	21,406,408	31,999 0	—		
国際救護活動資金	21,374,409	31,999	0			21,406,408	31,999	—		
支那国際活動基金	0	0	0	532,137	532,137		0	—	個人住民税控除適用海外救護金を受け入れたため 2025年ミャンマー地震救護金(支部受付分)：40,000円 同：《岐阜県在住者本社受付分》：467,137円 2025年アフガニスタン地震救護金(岐阜県在住者本社受付分)：25,000円	
うち個人住民税控除対象海外救護金	0	0	0	532,137	532,137		0	—		
施設整備準備資金	245,163,734 (0)	558,623 (0)	0	30,000,000 (0)	0	275,722,357 (0)	30,558,623 (0)	334,760,254		
合 計	1,069,633,505	2,345,136	0	73,032,137	40,532,137	1,104,478,641	34,845,136	—		

IV 令和 7 年度 岐阜県支部及び 施設概況

Ⅳ 令和7年度岐阜県支部及び施設概況

1 岐阜県支部の組織

(1) 日本赤十字社本社（岐阜県支部関係）役員名簿

役職名	氏名	公職名	就任年月日	退任年月日
理 事 (1 名)	水 野 光 二	瑞浪市長	平成 26 年 4 月 1 日	令和 8 年 3 月 31 日
代 議 員 (4 名)	柴 橋 正 直	岐阜市長	平成 30 年 2 月 24 日	
	水 野 光 二	瑞浪市長	平成 26 年 1 月 29 日	令和 8 年 3 月 31 日
	宇佐美晃三	大野町長	平成 31 年 2 月 14 日	令和 7 年 2 月 13 日
	西 脇 康 世	関ヶ原町長	令和 7 年 2 月 14 日	
	木 村 健 二	岐阜県有功会常任理事	令和 5 年 4 月 1 日	

(2) 岐阜県支部役員名簿

役職名	氏名	公職名	就任年月日	退任年月日
支 部 長 (1 名)	江 崎 禎 英	岐阜県知事	令和 7 年 7 月 1 日	
支 部 長 職 務 代 理 (1 名)	丹 藤 昌 治	岐阜県健康福祉部長	令和 7 年 2 月 6 日	令和 7 年 6 月 30 日
副 支 部 長 (3 名)	都 竹 淳 也	飛騨市長	令和 6 年 6 月 12 日	令和 7 年 6 月 4 日
	浅 野 健 司	各務原市長	令和 7 年 6 月 4 日	
	金 子 政 則	八百津町長	令和 5 年 6 月 1 日	令和 7 年 5 月 31 日
	宇佐美晃三	大野町長	令和 7 年 6 月 1 日	
	丹 藤 昌 治	岐阜県健康福祉部長	令和 5 年 7 月 18 日	令和 7 年 7 月 7 日
	中 西 浩 之		令和 7 年 7 月 8 日	
監 査 委 員 (3 名)	長 尾 広 幸	美濃市副市長	令和 6 年 4 月 1 日	
	加 納 秀 男	大野町副町長	令和 7 年 4 月 1 日	
	梅 村 玲 子	岐阜県地域福祉課長	令和 6 年 4 月 1 日	令和 8 年 3 月 31 日

(3) 岐阜県支部評議員名簿

氏名	選出区分	公職名	就任年月日	退任年月日
後藤 一郎	岐阜市地区	岐阜市副市長	令和4年4月1日	
高木 幹雄		岐阜市委員部委員長	平成31年2月14日	
可児 邦夫		岐阜市委員部理事	令和7年5月15日	
井上 いほり		岐阜市委員部理事	令和7年2月14日	
豊田 富士人	大垣市地区	大垣市副市長	令和4年6月21日	
清水 十三男		大垣市連合自治会	令和4年6月20日	令和7年8月20日
堀 和 英		連絡協議会会長	令和7年12月1日	
上田 和史	高山市地区	高山市副市長	令和6年4月1日	
鈴木 良平	多治見市地区	多治見市副市長	令和5年10月1日	
森川 哲也	関市地区	関市副市長	令和5年11月1日	
今井 亨	中津川市地区	中津川市副市長	令和6年4月1日	
長尾 広幸	美濃市地区	美濃市副市長	令和6年4月1日	
勝 康 弘	瑞浪市地区	瑞浪市副市長	平成22年4月1日	令和8年3月31日
國枝 篤志	羽島市地区	羽島市副市長	令和7年4月1日	
柘植 克久	恵那市地区	恵那市副市長	令和7年4月1日	
丸山 克彦	美濃加茂市地区	美濃加茂市副市長	令和6年4月15日	令和8年3月31日
鷺見 直人	土岐市地区	土岐市副市長	令和元年5月8日	
磯 谷 均	各務原市地区	各務原市副市長	令和7年4月1日	令和7年9月30日
田 中 登			令和7年10月1日	
可児 正則		各務原市民生委員児童委員協議会会長	令和元年12月1日	
肥田 光久	可児市地区	可児市副市長	令和6年4月1日	
久保田 裕司	山県市地区	山県市副市長	平成3年10月1日	
梶 浦 要	瑞穂市地区	瑞穂市副市長	令和2年4月1日	
谷口 博文	本巣市地区	本巣市副市長	令和6年4月1日	
藤井 弘史	飛騨市地区	飛騨市副市長	令和6年4月1日	
乾 松 幸	郡上市地区	郡上市副市長	令和6年5月14日	
田口 広宣	下呂市地区	下呂市副市長	令和2年4月18日	
大江 雅彦	海津市地区	海津市副市長	令和3年9月6日	

氏名	選出区分	公職名	就任年月日	退任年月日
古田 聖人	岐 阜 地 域 地 区	笠 松 町 長	令和 7 年 2 月 14 日	
早 野 博 文	西 濃 地 域 地 区	垂 井 町 長	令和 7 年 2 月 14 日	
藤 井 弘 之		神 戸 町 長	令和 7 年 2 月 14 日	
竹 中 誉	西 濃 地 域 揖 斐 地 区	池 田 町 長	令和 6 年 6 月 10 日	
伊 藤 敬 宏	加 茂 地 域 地 区	坂 祝 町 長	令和 7 年 2 月 14 日	
今 井 俊 郎		東 白 川 村 長	令和 7 年 2 月 14 日	
成 原 茂	飛 騨 地 域 地 区	白 川 村 長	平成 23 年 4 月 27 日	
布 俣 正 也	支 部 長	岐 阜 県 議 会	令和 6 年 5 月 8 日	令和 7 年 5 月 8 日
恩 田 佳 幸		厚生環境委員長	令和 7 年 5 月 8 日	
森 健 二		岐阜商工会議所専務理事	令和元年 11 月 1 日	令和 7 年 6 月 30 日
加 藤 剛			令和 7 年 7 月 1 日	
神 田 定 男		岐阜県自治連絡協議会会長	令和 7 年 2 月 14 日	
上田千衣子		岐阜県赤十字奉仕団 支部委員会委員長	令和 7 年 4 月 25 日	
由井健一郎		岐阜県青少年赤十字 指導者協議会会長	令和 6 年 5 月 21 日	令和 7 年 5 月 27 日
平 松 俊 英			令和 7 年 5 月 27 日	
村 瀬 幸 雄		岐阜県赤十字有功会 会 長	平成 25 年 12 月 27 日	

評議員の定数（人）	
地区・地域地区選出	33
支部長選出	6
合計	39

(4) 岐阜県支部地区・分区長名簿

地区・分区名	公職名	氏名	就任年月日	退任年月日
岐阜市地区	岐 阜 市 長	柴 橋 正 直	平成 30 年 2 月 24 日	
大垣市地区	大 垣 市 長	石 田 仁	令和 3 年 4 月 22 日	
高山市地区	高 山 市 長	田 中 明	令和 4 年 9 月 4 日	
多治見市地区	多 治 見 市 長	高 木 貴 行	令和 5 年 4 月 30 日	
関 市 地 区	関 市 長	山 下 清 司	令和 5 年 9 月 22 日	
中津川市地区	中 津 川 市 長	小 栗 仁 志	令和 6 年 1 月 22 日	
美濃市地区	美 濃 市 長	武 藤 鉄 弘	平成 26 年 1 月 26 日	令和 7 年 10 月 31 日
		篠 田 啓 介	令和 7 年 11 月 2 日	
瑞浪市地区	瑞 浪 市 長	水 野 光 二	平成 19 年 7 月 27 日	
羽島市地区	羽 島 市 長	松 井 聡	平成 24 年 12 月 21 日	
恵那市地区	恵 那 市 長	小 坂 喬 峰	平成 28 年 11 月 28 日	
美濃加茂市地区	美濃加茂市長	藤 井 浩 人	令和 4 年 1 月 28 日	
土岐市地区	土 岐 市 長	加 藤 淳 司	平成 31 年 4 月 27 日	
各務原市地区	各 務 原 市 長	浅 野 健 司	平成 25 年 5 月 20 日	
可児市地区	可 児 市 長	富 田 成 輝	平成 22 年 1 月 7 日	
山県市地区	山 県 市 長	林 宏 優	平成 23 年 4 月 27 日	
瑞穂市地区	瑞 穂 市 長	森 和 之	令和元年 6 月 1 日	
飛騨市地区	飛 騨 市 長	都 竹 淳 也	平成 28 年 3 月 7 日	
本巣市地区	本 巣 市 長	藤 原 勉	平成 20 年 3 月 7 日	
郡上市地区	郡 上 市 長	山 川 弘 保	令和 6 年 4 月 11 日	
下呂市地区	下 呂 市 長	山 内 登	令和 2 年 4 月 18 日	
海津市地区	海 津 市 長	横 川 真 澄	令和 3 年 5 月 8 日	
岐阜地域地区	岐阜地域福祉事務所長	加 代 暢 尊	令和 5 年 4 月 1 日	令和 8 年 3 月 31 日
西濃地域地区	西濃県事務所長	足 立 葉 子	令和 7 年 4 月 1 日	令和 7 年 12 月 31 日
		崎 浦 理 加	令和 8 年 1 月 1 日	
西濃地域揖斐地区	揖斐県事務所長	山 田 浩 司	令和 6 年 4 月 1 日	令和 8 年 3 月 31 日
可茂地域地区	可茂県事務所長	浅 井 克 之	令和 6 年 4 月 1 日	令和 8 年 3 月 31 日
飛騨地域地区	飛騨県事務所長	森 祥 一	令和 6 年 4 月 1 日	令和 8 年 3 月 31 日

地区・分区名	公職名	氏名	就任年月日	退任年月日
岐南町分区	岐南町長	後藤 友紀	令和6年4月14日	
笠松町分区	笠松町長	古田 聖人	令和元年6月29日	
北方町分区	北方町長	戸部 哲哉	平成28年3月20日	
養老町分区	養老町長	川地 憲元	令和4年12月15日	
垂井町分区	垂井町長	早野 博文	平成31年4月27日	
関ヶ原町分区	関ヶ原町長	西脇 康世	平成24年12月26日	
神戸町分区	神戸町長	藤井 弘之	令和4年7月4日	
輪之内町分区	輪之内町長	朝倉 和仁	令和5年6月24日	
安八町分区	安八町長	岡田 立	令和5年5月6日	
揖斐川町分区	揖斐川町長	岡部 栄一	令和2年11月20日	
大野町分区	大野町長	宇佐美 晃三	平成22年3月1日	
池田町分区	池田町長	竹中 誉	令和6年6月10日	
坂祝町分区	坂祝町長	伊藤 敬宏	令和6年8月25日	
富加町分区	富加町長	渡邊 圭太	令和6年6月2日	
川辺町分区	川辺町長	佐藤 光宏	平成13年5月20日	令和7年5月19日
		木下 宙	令和7年5月20日	
七宗町分区	七宗町長	堀部 勝広	令和7年3月28日	
八百津町分区	八百津町長	金子 政則	平成28年1月28日	
白川町分区	白川町長	佐伯 正貴	令和4年8月23日	
東白川村分区	東白川村長	今井 俊郎	平成26年4月23日	
御嵩町分区	御嵩町長	渡辺 幸伸	令和5年7月5日	
白川村分区	白川村長	成原 茂	平成23年4月27日	

(5) 岐阜県支部地区・分区一覧表

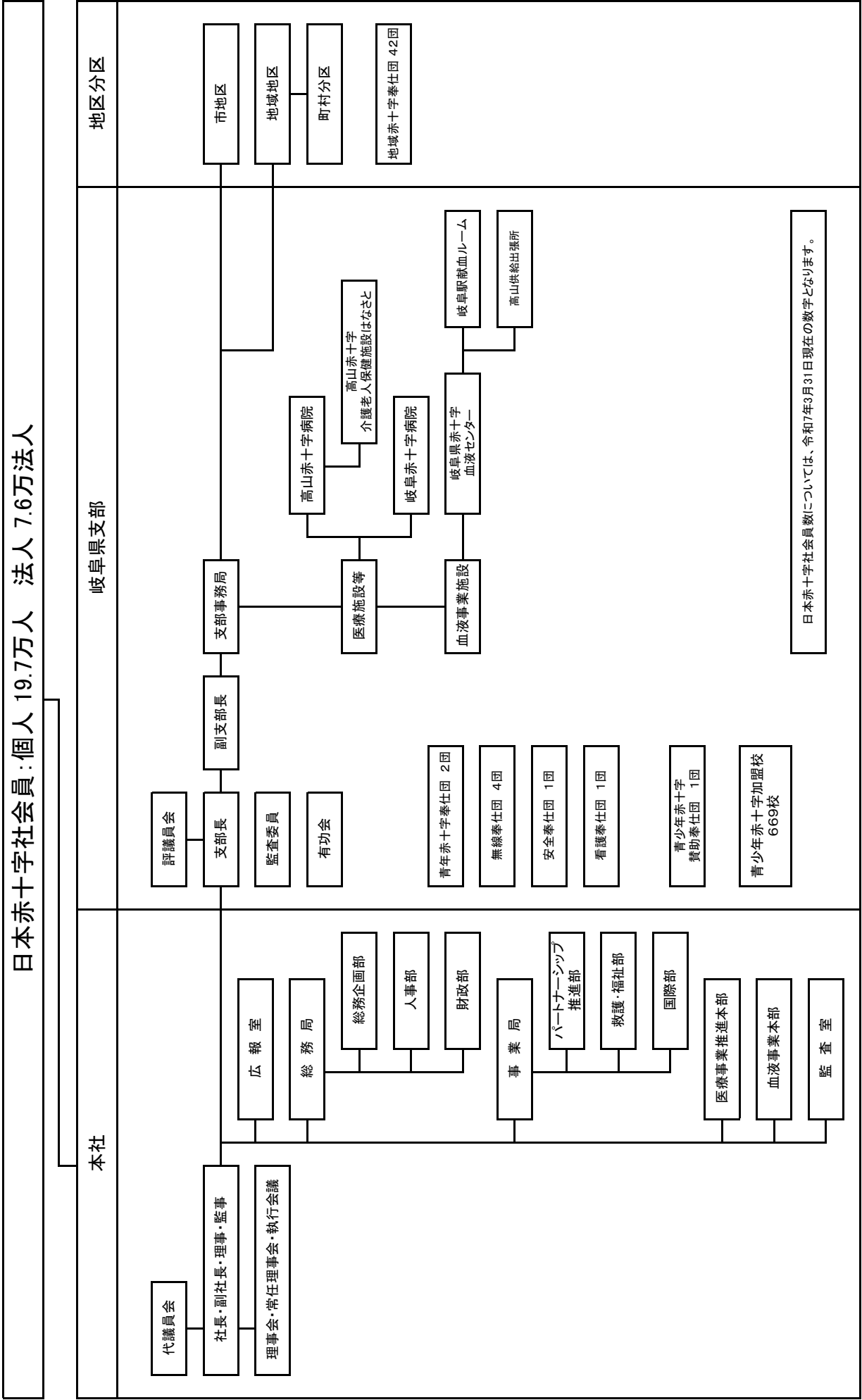
地区区分名	所在地	所属	電話番号
岐阜市地区	岐阜市都通 2 丁目 2 番地 岐阜市民福祉活動センター内	岐阜市社会福祉協議会 総務課 総務係 (社資募集関係) 総務課 企画係 (奉仕団関係)	058-255-5511
大垣市地区	大垣市丸の内 2 丁目 29 番地	大垣市役所 健康福祉部 社会福祉課	0584-81-4111
高山市地区	高山市花岡町 2 丁目 18 番地	高山市役所 市民福祉部 福祉課	0577-35-3356
多治見市地区	多治見市音羽町 1 丁目 233 番地	多治見市役所 福祉部 福祉課	0572-22-1111
関市地区	関市若草通 2 丁目 1 番地 わかくさ・プラザ総合福祉会館 2 階	関市社会福祉協議会 総務・地域福祉課	0575-22-0372
中津川市地区	中津川市かやの木町 2 番 5 号 中津川市健康福祉会館内	中津川市役所 市民福祉部 社会福祉課	0573-66-1111
美濃市地区	美濃市 1350 番地	美濃市役所 民生部 福祉子ども課	0575-33-1122
瑞浪市地区	瑞浪市上平町 1 丁目 1 番地	瑞浪市役所 健康福祉部 社会福祉課	0572-68-2111
羽島市地区	羽島市竹鼻町 55 番地	羽島市役所 健康福祉部 高齢福祉課	058-392-1111
恵那市地区	恵那市長島町正家 1 丁目 1 番地 1	恵那市役所 医療福祉部 社会福祉課	0573-26-2111
美濃加茂市地区	美濃加茂市新池町 3 丁目 4 番 1 号	美濃加茂市社会福祉協議会 地域福祉係	0574-28-6111
土岐市地区	土岐市土岐津町土岐口 2101 番地	土岐市役所 健康福祉部 福祉課	0572-54-1111
各務原市地区	各務原市那加桜町 1 丁目 69 番地	各務原市役所 健康福祉部 福祉政策課	058-383-1111
可児市地区	可児市今渡 682 番地 1 可児市福祉センター	可児市社会福祉協議会 地域係	0574-62-1555
山県市地区	山県市高木 1000 番地の 1	山県市役所 福祉課	0581-22-6837
瑞穂市地区	瑞穂市別府 1283 番地 総合センター内	瑞穂市役所 健康福祉部 地域福祉高齢課	058-327-4126
飛騨市地区	飛騨市古川町若宮 2 丁目 1 番 60 号 ハートピア古川内	飛騨市役所 市民福祉部 地域包括ケア課	0577-73-6233
本巣市地区	本巣市早野 255 番地	本巣市役所 健康福祉部 福祉支援課	058-323-7752
郡上市地区	郡上市八幡町島谷 228 番地	郡上市役所 健康福祉部 社会福祉課 (防災関係)	0575-67-1121
	郡上市大和町徳永 585 番地	郡上市社会福祉協議会 地域福祉課 (社資募集関係) (奉仕団関係)	0575-88-9988
下呂市地区	下呂市萩原町萩原 1166 番地 8 星雲会館内	下呂市役所 福祉部 社会福祉課	0576-52-3936
海津市地区	海津市海津町高須 515	海津市役所 健康福祉部 社会福祉課	0584-53-1139
岐阜地域地区	岐阜市藪田南 5 丁目 14 番 53 号 OKB ふれあい会館第 2 棟 4 階	岐阜地域福祉事務所 福祉課 地域福祉第一係	058-272-1930
西濃地域地区	大垣市江崎町 422 番地の 3	西濃県事務所 福祉課	0584-73-1111
西濃地域揖斐地区	揖斐郡揖斐川町上南方 1 の 1	揖斐県事務所 福祉課	0585-23-1111
可茂地域地区	美濃加茂市古井町下古井 2610-1	可茂県事務所 福祉課	0574-25-3111
飛騨地域地区	高山市上岡本町 7 丁目 468 番地	飛騨県事務所 福祉課	0577-33-1111

地区分区名	所 在 地	所 属	電話番号
岐南町分区	羽島郡岐南町八剣 7 丁目 107 番地	岐南町役場 福祉部 福祉課	058-247-1348
笠松町分区	羽島郡笠松町東陽町 44 番地の 1	笠松町役場 住民福祉部 福祉会館	058-387-1121
養老町分区	養老郡養老町高田 79 番地の 2	養老町社会福祉協議会 事務局	0584-34-3504
垂井町分区	不破郡垂井町 1305 番地の 2	垂井町社会福祉協議会 事務局	0584-23-3335
関ヶ原町分区	不破郡関ヶ原町大字関ヶ原 2490 番地の 29 国保関ヶ原診療所北棟 1 階	関ヶ原町社会福祉協議会	0584-43-2943
神戸町分区	安八郡神戸町大字神戸 1111 番地	神戸町役場 民生部 健康福祉課	0584-27-3111
輪之内町分区	安八郡輪之内町四郷 2530 番地の 1	輪之内町役場 福祉介護課	0584-69-3111
安八町分区	安八郡安八町南今ヶ淵 400 番地 安八町中央公民館 2 階	安八町社会福祉協議会	0584-47-7704
揖斐川町分区	揖斐郡揖斐川町三輪 133 番地	揖斐川町役場 住民福祉部 健康福祉課（社資募集関係）	0585-22-2111
	揖斐郡揖斐川町上南方 193	揖斐川町社会福祉協議会（奉仕団関係）	0585-23-0411
大野町分区	揖斐郡大野町大字大野 80 番地	大野町役場 民生部 福祉課（奉仕団関係）	0585-34-1111
	揖斐郡大野町大字大野 80 番地	大野町社会福祉協議会 地域福祉係（社資募集関係）	0585-34-2130
池田町分区	揖斐郡池田町六之井 1468 番地の 1	池田町役場 民生部 健康福祉課	0585-45-3111
北方町分区	本巣郡北方町長谷川 1 丁目 1 番地	北方町役場 福祉子ども課	058-323-1119
坂祝町分区	加茂郡坂祝町取組 46-18	坂祝町役場 福祉課	0574-26-7111
富加町分区	加茂郡富加町滝田 1381 番地 1	富加町社会福祉協議会 事務局	0574-54-1312
川辺町分区	加茂郡川辺町中川辺 1518 番地 4	川辺町役場 健康福祉課	0574-53-2511
七宗町分区	加茂郡七宗町神淵 10327 番地 1	七宗町社会福祉協議会 事務局	0574-46-1294
八百津町分区	加茂郡八百津町八百津 3903 番地 2	八百津町役場 健康福祉課（社資募集関係）	0574-43-2111
	加茂郡八百津町八百津 3836 番地 3	八百津町社会福祉協議会（奉仕団関係）	0574-43-4462
白川町分区	岐阜県加茂郡白川町河岐 1705 番地 2	白川町役場 保健福祉課（社資募集関係）	0574-72-1311
	加茂郡白川町三川 2065 番地 2	白川町社会福祉協議会 地域福祉課（奉仕団関係）	0574-72-2327
東白川村分区	加茂郡東白川村神土 697 番地 1	東白川村社会福祉協議会	0574-78-2059
御嵩町分区	可児郡御嵩町御嵩 1239 番地 1	御嵩町役場 民生部 福祉子ども課	0574-67-2111
白川村分区	大野郡白川村鳩谷 517 番地	白川村役場 村民課	05769-6-1311

2 施設概況

日本赤十字社岐阜県支部	 〒500-8601 岐阜市茜部中島 2-9 TEL (058)272-3561 FAX(058)274-6938	施設長名	支部長 江崎 禎英
		職員数	14 人
高山赤十字病院	 〒506-8550 高山市天満町 3-11 TEL (0577)32-1111 FAX(0577)34-4155	施設長名	病院長 竹中 勝信
		職員数	855 人
		病床数	375 床
		診療科	内科 呼吸器科 消化器科 循環器内科 血液内科 精神科(心療内科) 小児科 外科 整形外科 脳神経外科 産婦人科 泌尿器科 皮膚科 眼科 耳鼻咽喉科 放射線科 リハビリテーション科 麻酔科 歯科口腔外科 病理診断科
岐阜赤十字病院	 〒502-8511 岐阜市岩倉町 3-36 TEL (058)231-2266 FAX(058)233-7772	施設長名	病院長 長島 賢司
		職員数	543 人
		病床数	311 床(～R7.9.29)・287 床(R7.9.30～)
		診療科	総合内科・リウマチ科 消化器内科 循環器内科 呼吸器内科 甲状腺・糖尿病内科 血液内科 脳神経内科 腎臓内科 小児科 外科 整形外科 脳神経外科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 皮膚科 甲状腺外科 麻酔科 リハビリテーション科 精神科 放射線科 感染症科 内視鏡科 病理診断科
岐阜県赤十字血液センター	 〒500-8269 岐阜市茜部中島 2-10 TEL (058)272-6911 FAX(058)275-2545	施設長名	所長 高橋 健
		職員数	105 人
		出張所	岐阜駅出張所 (岐阜献血ルーム アクティブG) 〒500-8856 岐阜市橋本町 1-10-1 アクティブ G 2 階 TEL(058)264-2122 高山供給出張所 〒506-0807 高山市三福寺町 535-2 TEL(0577)37-0150

3 日本赤十字社岐阜県支部の機構(令和8年4月1日現在)



日本赤十字社現勢

日本赤十字社の使命				わたしたちは、 苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、 いかなる状況下でも、 人間のいのちと健康、尊厳を守ります。				日本赤十字社スローガン 人間を救うのは、人間だ。				赤十字の基本原則 人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性			
1949年のジュネーブ四条約締約国				196カ国				世界の赤十字社・赤新月社等				191社			
1. 沿 革				明治10年(1877) 5月 1日 博愛社設立 明治20年(1887) 5月20日 日本赤十字社に改称 昭和27年(1952) 8月14日 日本赤十字社法制定				12. 国内災害救護				9,084人(常備救護班要員を含む)			
2. 名誉総裁・名誉副総裁								救護員数				490班 6,226人			
名 誉 総 裁 皇 后 陸 下								常備救護班				無線局			
名 誉 副 総 裁 秋篠宮皇嗣妃殿下								救護車両				(令和7年3月31日現在) 3,089局			
常陸宮殿下・同妃華子殿下								赤十字飛行隊(特殊奉仕団)				2,183台			
寛仁親王妃信子殿下								災害における救護員出動数(令和6年度)				78人			
高円宮妃久子殿下								救援物資配分数(毛布・安眠セット・緊急セット)(令和6年度)				905人			
3. 会 員				個人 19.7万人				令和6年度取扱災害義援金額(令和7年3月31日現在)				321億7,941万5,307円			
(令和7年3月31日現在)				法人 7.6万法人				13. 医 療 事 業							
4. 評 議 員				2,004人				施 設 数							
5. 代 議 員				223人				病 院				診 療 所 5			
6. 役 員(令和7年7月1日現在)								90				老人保健施設 4			
社 長 清家 篤(常勤)												介護医療院 5			
副 社 長 鈴木 俊彦(常勤) 筒井 義信(非常勤)								病 床 総 数				34,083床 (令和7年3月31日現在)			
理 事 61人(常勤5人、非常勤56人)								総患者数(令和6年度)				1日平均			
監 事 3人(常勤1人、非常勤2人)								入 院				981万人			
								外 来				1,537万人			
7. 青少年赤十字(令和7年3月31日現在)								14. 血 液 事 業							
幼稚園・保育所等				1,778校 133,361人				施 設 数							
小 学 校				6,956校 1,868,411人				地域血液センター				47 ブロック血液センター 7			
中 学 校				3,441校 936,117人				附属施設				168 附属施設(製造所) 4			
高 等 学 校				1,732校 343,608人				(献血ルーム115を含む)							
特 別 支 援 学 校				234校 24,560人				献血者数(令和6年度)				供給本数(令和6年度)			
そ の 他				163校 39,403人				成 分 献 血 155万人				輸 血 用 製 剤 1,737万本			
計				14,304校 3,345,460人				400mL 献 血 331万人				車両台数(令和7年3月31日現在)			
指 導 者				274,847人				200mL 献 血 12万人				献血 運 搬 車 767台			
								計 499万人				移 動 採 血 車 275台			
8. 赤十字ボランティア(令和7年3月31日現在)								15. 社会福祉事業							
地域赤十字奉仕団				2,048団 634,747人				児 童 福 祉 施 設 数(定員)							
青年赤十字奉仕団				149団 5,108人				乳児院 8(282)				医療型障害児入所施設 3(284)			
特殊赤十字奉仕団				603団 26,853人				保育所 3(329)							
個人ボランティア等				- 11,320人				児童養護施設 1(40)							
計				2,800団 678,028人				老 人 福 祉 施 設 数(定員)							
9. 救急法等の講習								特別養護老人ホーム(併設ケアハウス20人を含む)				8(773)			
資格登録者数(令和7年3月31日現在)				受講者数(令和6年度)				障害者福祉施設数(定員)				複 合 型 施 設 1(定員)			
指 導 者				救 急 員 等				障害者支援施設 1(50)				特別養護老人ホーム (110)			
救 急 法 基 礎 講 習 10,986人				138,397人 39,373人				視聴覚障害者情報提供施設 2				介護老人保健施設 (100)			
救 急 法 7,001人				61,390人 331,455人				補装具製作施設 1				高齢者グループホーム (18)			
水 上 安 全 法 1,488人				4,989人 50,846人				障害者支援施設				(10)			
雪 上 安 全 法 227人				773人 274人											
幼 児 安 全 法 2,270人				9,351人 63,679人											
健康生活支援講習 1,701人				5,691人 50,397人											
計 23,673人				220,591人 536,024人											
10. 看護師等の教育								16. 職員数(施設数)							
施 設 数				一 学 年 養 成 定 員				職 員 数							
大学(大学院併設) 6				看護師 15校 1,115人				本社(1)				562人			
短期大学 1				助産師 6校 88人				支部(47)				705人			
看護専門学校 9				保健師 6校 174人				医療事業(114)				59,881人			
助産師学校 1				幹部看護師 1校 120人				血液事業(226)				5,758人			
幹部看護師研修センター 1				介護福祉士 1校 30人				社会福祉事業(28)				1,209人			
計 18								計				68,115人			
11. 国際活動								17. 会 計(令和7年度当初予算)							
国際救援・開発要員派遣(令和6年度)				14カ国 のべ45人				一 般 会 計				本 社 170億8千万円			
国際赤十字・赤新月社連盟出向(令和6年度)				3人(スイス、マレーシア)				支 部				187億8千万円			
国際活動費(令和6年度)				68億6千万円				医 療 施 設 特 別 会 計				1兆2,509億9千万円			
								血 液 事 業 特 別 会 計				1,683億4千万円			
								社 会 福 祉 施 設 特 別 会 計				169億8千万円			

想いの力を、 救う力に。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

災害や紛争、貧困や感染症で
傷つき苦しんでいる人をなんとしても救いたい。
私たちを動かしているのは、
この強い想いなんだ。
あなたの想いを赤十字と一緒に、
救う力に変えませんか。

赤十字は、 動いてる！ with You



赤十字講習会のご案内

生命と健康を守り、安全で心豊かな生活を営んでいただくために、初めての方にもわかりやすい実技指導を交えた各種講習を行います。

救急法



思わぬ事故・災害にあった人や急病人を医師や救急隊に引き継ぐまでの応急手当の方法を学びます。

.....

＜講習内容＞

心肺蘇生法・AEDの取扱い・急病、きずの手当・包帯法・搬送法等

水上安全法



水の事故を防止するための知識や自分の身を守るための泳ぎ方、溺れた人の救助の仕方、応急手当の方法を学びます。

.....

＜講習内容＞

水の事故防止、泳ぎの基本と自己保全、溺れた人の救助と応急手当等

健康生活支援講習



高齢社会を共に支え合うことができるように、健やかな高齢期を過ごすための健康管理、地域での高齢者支援、自立を目指した介護の方法を学びます。

.....

＜講習内容＞

高齢者の健康と安全、地域における高齢者支援、日常生活における介護

幼児安全法



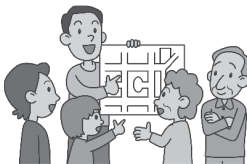
子どもが健康で安全に育つことを願って、子どもを社会全体で大切に育てるために、子どもに起こりやすい事故の予防と救命手当・応急手当の方法、子どもの病気と看病のしかたなどを学びます。

.....

＜講習内容＞

子どもについて、子どもに起こりやすい事故の予防と手当、乳幼児の一次救命処置、子どもの病気と看病のしかた

防災セミナー



防災の意識を高め、防災・減災に関する知識・技術を学びます。

.....

＜講習内容＞

災害への備え、災害エスノグラフィー、災害図上訓練（DIG）など

ご希望の日時・会場に講師を派遣します！！

職場やサークルなどの集まりで、仲間同士でお気軽にお申し込みください。

ご希望のところへ、いつでも、どこへでもお伺いします。

【お問い合わせ・お申込みについては】

日本赤十字社岐阜県支部

TEL：058-272-3561／FAX：058-274-6938